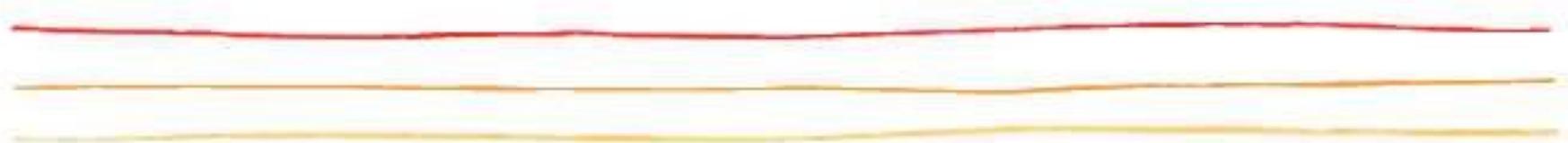


# 統計から見た思春期の子ども達の 現状と課題

平成30年度

香川県中讃保健福祉事務所



- 
- 中讃保健福祉事務所では、効率的で有効な思春期保健対策を推進するため、母子保健、健康づくり、感染症予防、メンタルヘルス、タバコ・アルコール・薬物乱用など思春期保健に関する情報や課題を関係各課で共有し、総合的・重層的に検討及び実施を行うワーキングを設置しています。
  - このワーキングの中で、思春期の子ども達の現状と課題が明確になるよう、各種統計データを整理しました。

# 思春期の子ども達の現状と課題

(1)肥満傾向及びやせ

4P

(2)歯と口腔の健康

6P

(3)喫煙及び飲酒

8P

(4)性感染症

10P

(5)十代の人工妊娠中絶と出産

16P

(6)薬物依存

22P

(7)メンタルヘルス

24P

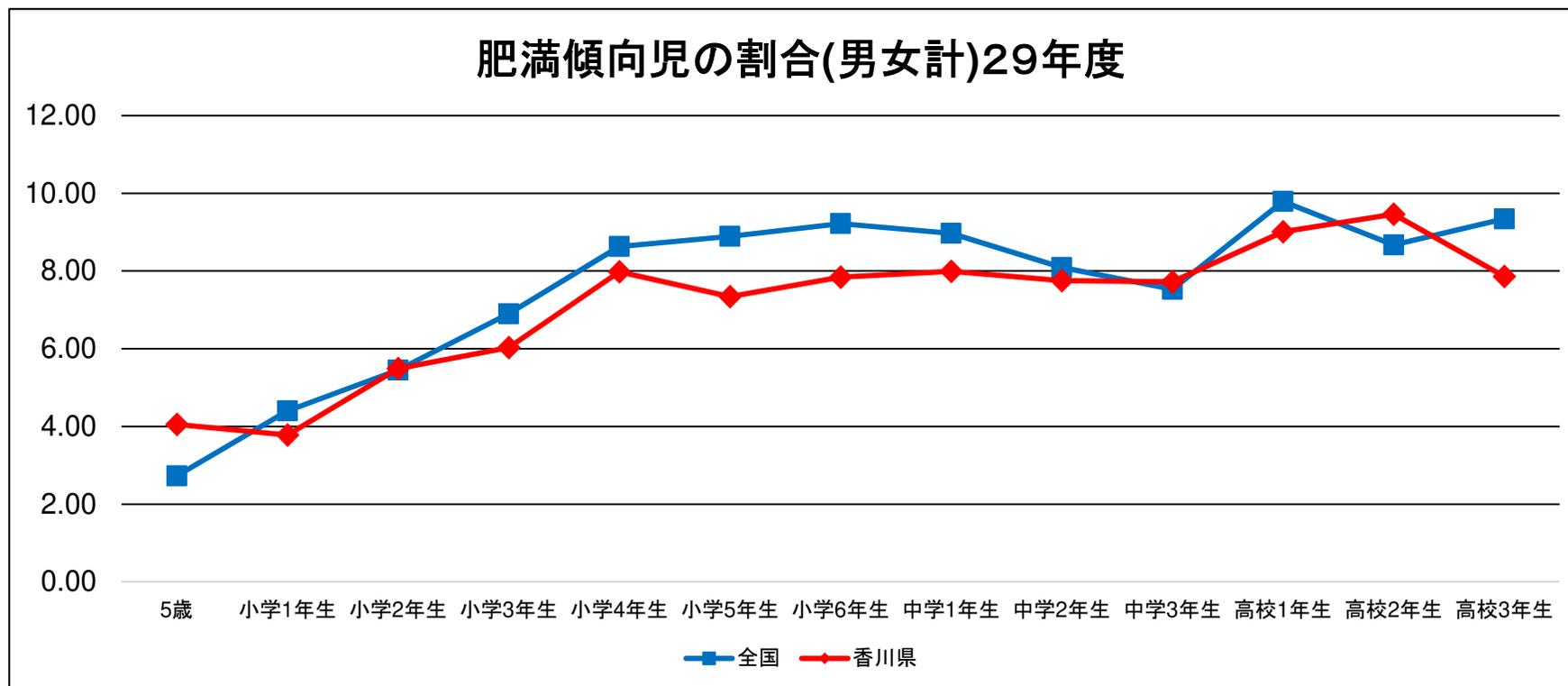
参考資料 1

31P

# (1) 肥満傾向及びびやせ

## ①肥満傾向児の割合（全国・香川県）

健やか親子21（第2次）目標：7.0% 【10歳 小学5年生 男女】

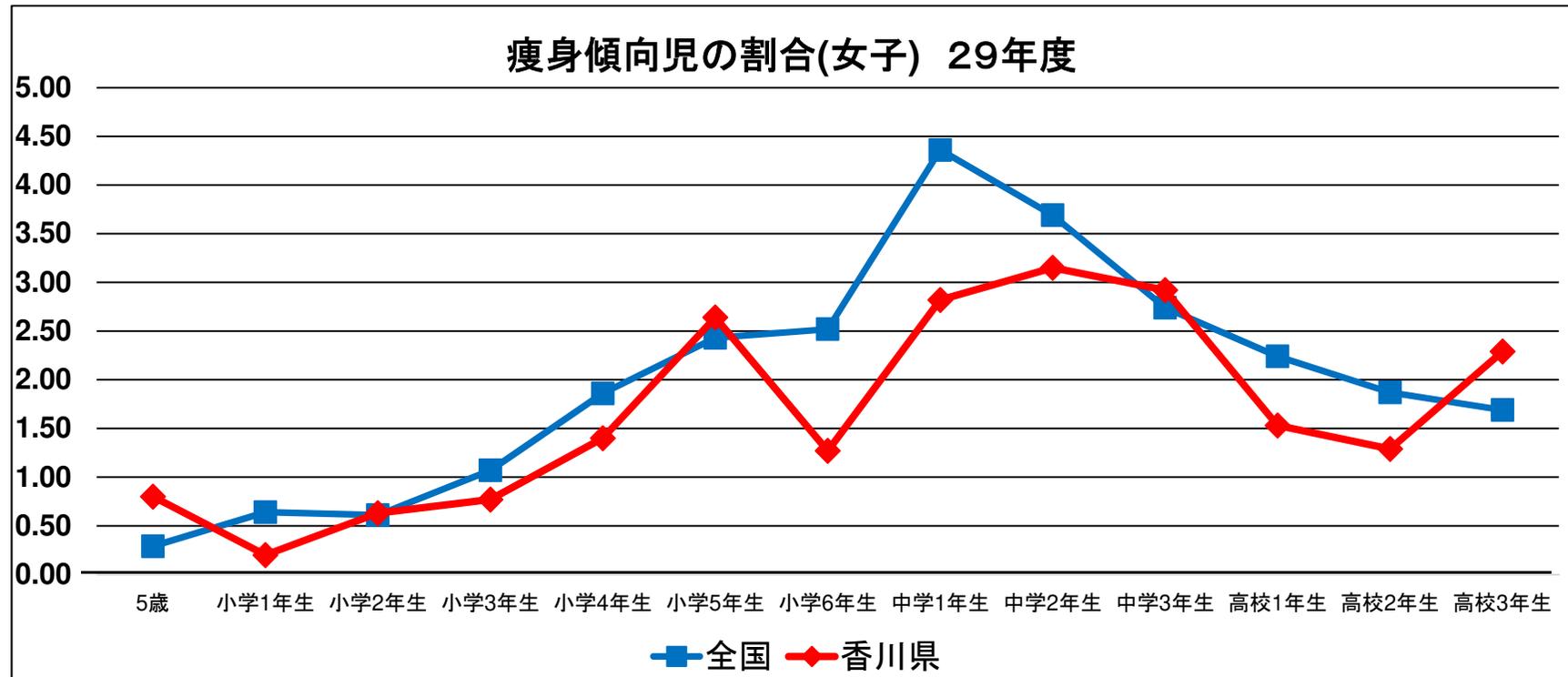


(注)肥満傾向児とは、性別・年齢別・身長別標準体重から肥満度を求め、肥満度が20%以上の者である。  
肥満度(過体重度) = (実測体重 - 身長別標準体重) / 身長別標準体重 × 100(%)

学校保健統計調査

## ②女子の痩身傾向児の割合（全国・香川県）

健やか親子21（第2次）目標：1.0% 【16歳 高校2年生】



(注)痩身傾向児とは、性別・年齢別・身長別標準体重から肥満度を求め、肥満度が $-20\%$ 以下の者である。  
肥満度(過体重度) = (実測体重 - 身長別標準体重) / 身長別標準体重  $\times 100(\%)$

学校保健統計調査

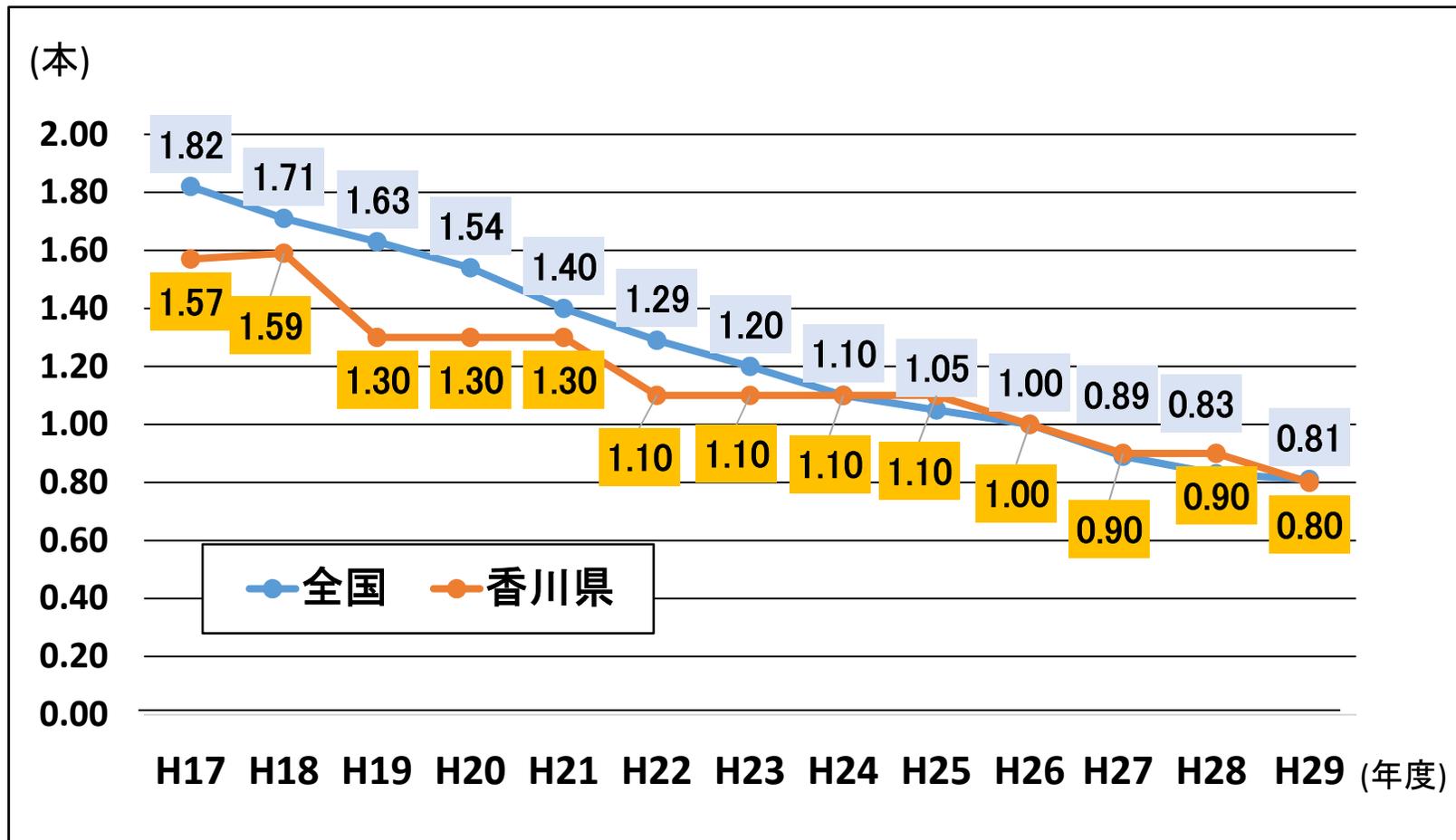
成長期の栄養障害 → 成長障害、感情障害

○二次性徴の遅れや月経不順、無月経

○不妊症のリスク

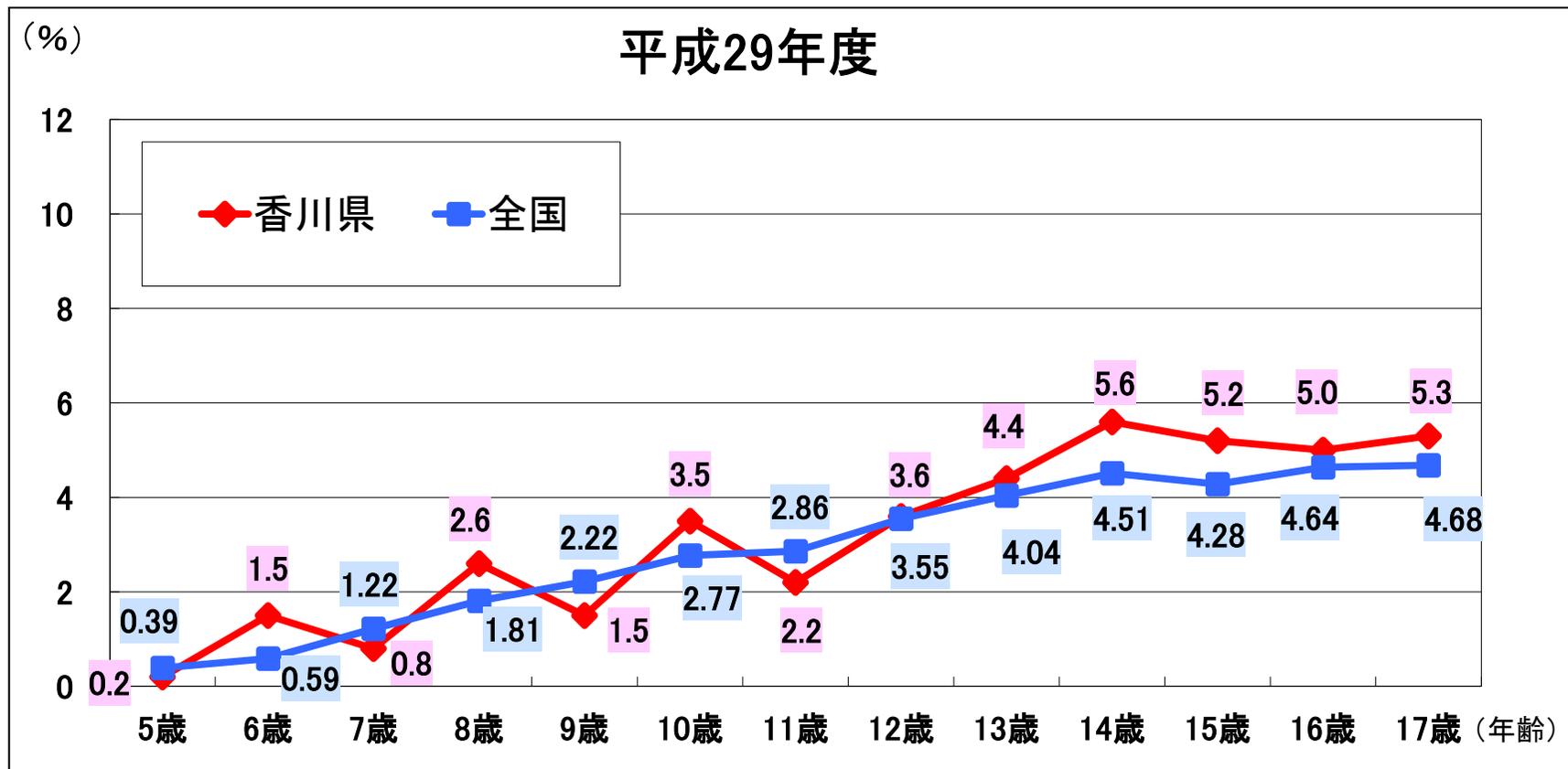
## (2) 歯と口腔の健康

### ① 12歳の一人あたり平均むし歯数(全国・香川県)



学校保健統計より

## ②歯肉に炎症があり、専門医(歯科医師)による診断が必要とされた者の割合



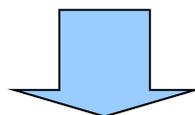
学校保健統計より

## (3) 喫煙及び飲酒

### ①十代の喫煙率、飲酒率 (全国)

#### 健やか親子21(第2次)

		ベースライン (平成22年度)	直近値 (平成26年度)	中間評価目標 (5年後)	最終評価目標 (10年後)
喫煙率	中学1年 男子 / 女子	1.6 % / 0.9%	1.0% / 0.3%	0%	0%
	高校3年 男子 / 女子	8.6% / 3.8%	4.6% / 1.5%		
飲酒率	中学3年 男子 / 女子	8.0% / 9.7%	7.2% / 5.2%	0%	0%
	高校3年 男子 / 女子	21.0% / 18.5%	13.7% / 10.9%		



平成22年度、26年度  
・厚生労働科学研究

### 減少傾向

- たばこ事業法の改正(広告規制の強化)や成人識別機能付自販機の導入等
- 未成年者飲酒防止に係る取組み  
(販売時の年齢確認の徹底、自販機の適正な管理の徹底等)

## ②妊娠中の喫煙率および飲酒率（全国）

### 健やか親子21（第2次）

	ベースライン （平成25年度）	直近値 （平成28年度）	中間評価目標 （5年後）	最終評価目標 （10年後）
喫煙率	3.8%	2.9%	0%	0%
飲酒率	4.3%	1.3%	0%	0%

平成25年度厚生労働科学研究  
平成28年度母子保健課調査

- 妊娠中の喫煙→妊娠合併症のリスクを高めるだけでなく、児の低体重、出生後の乳幼児突然死症候群のリスクとなる。
- 妊娠中の飲酒→胎児性アルコール症候群や発達障害を引き起こすとされる。

## (4) 性感染症

### ①十代の性感染症罹患率(全国)

健やか親子21(第2次)

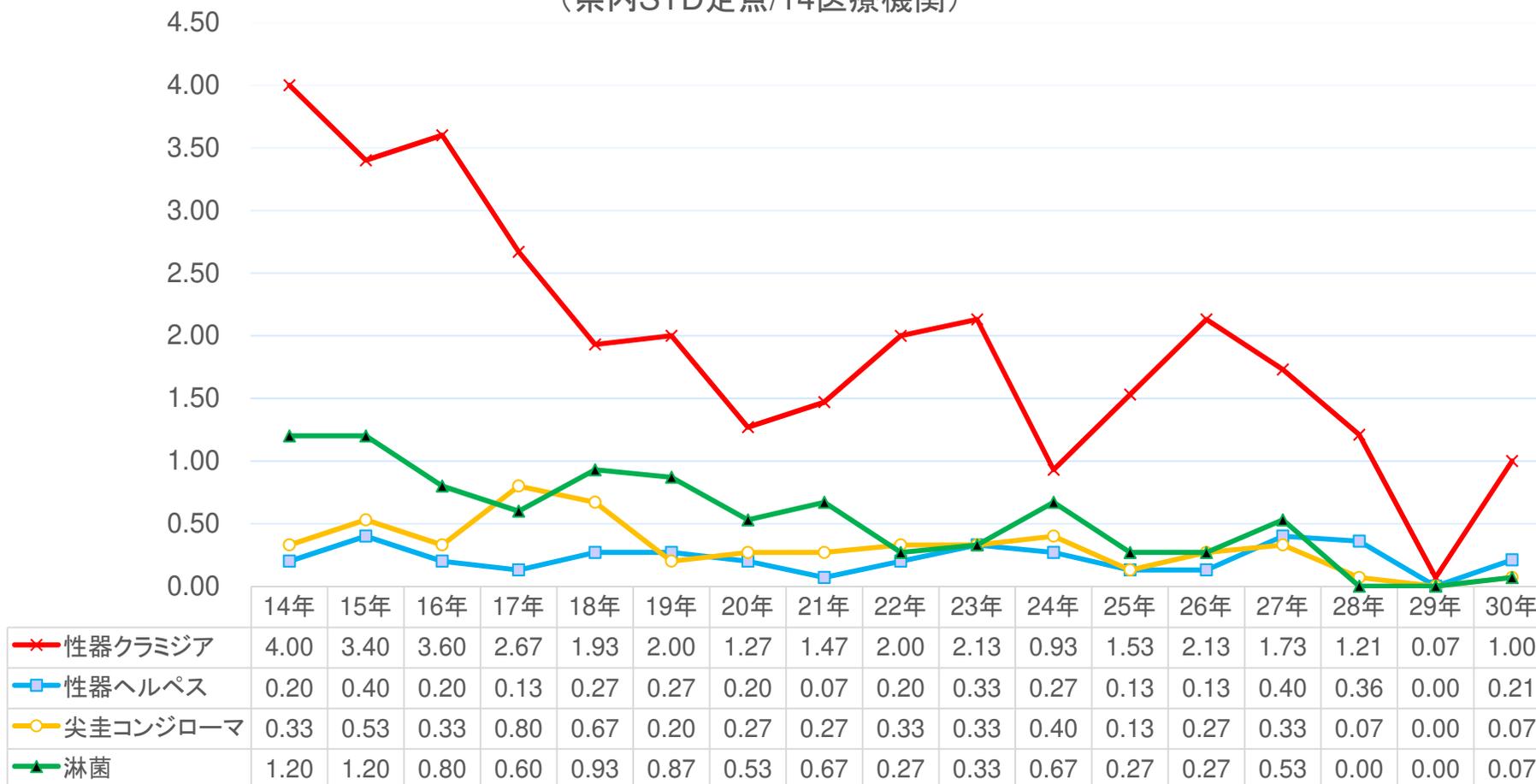
	ベースライン (H24年)	直近値 (H28年)	中間評価目標 (5年後)	最終評価目標 (10年後)
性器クラミジア	2.92	2.21	減少	減少
淋菌感染症	0.82	0.50		
尖圭コンジローマ	0.33	0.17		
性器ヘルペス	0.35	0.29		

感染症発生動向調査より

性感染症の罹患率は減少傾向であり、引き続きさらなる減少を目指す！

## ②十代の性感染症報告数の年次推移（香川県）

性感染症の年次推移（10～19歳）定点医療機関あたり件数（H14～H30）年  
（県内STD定点/14医療機関）

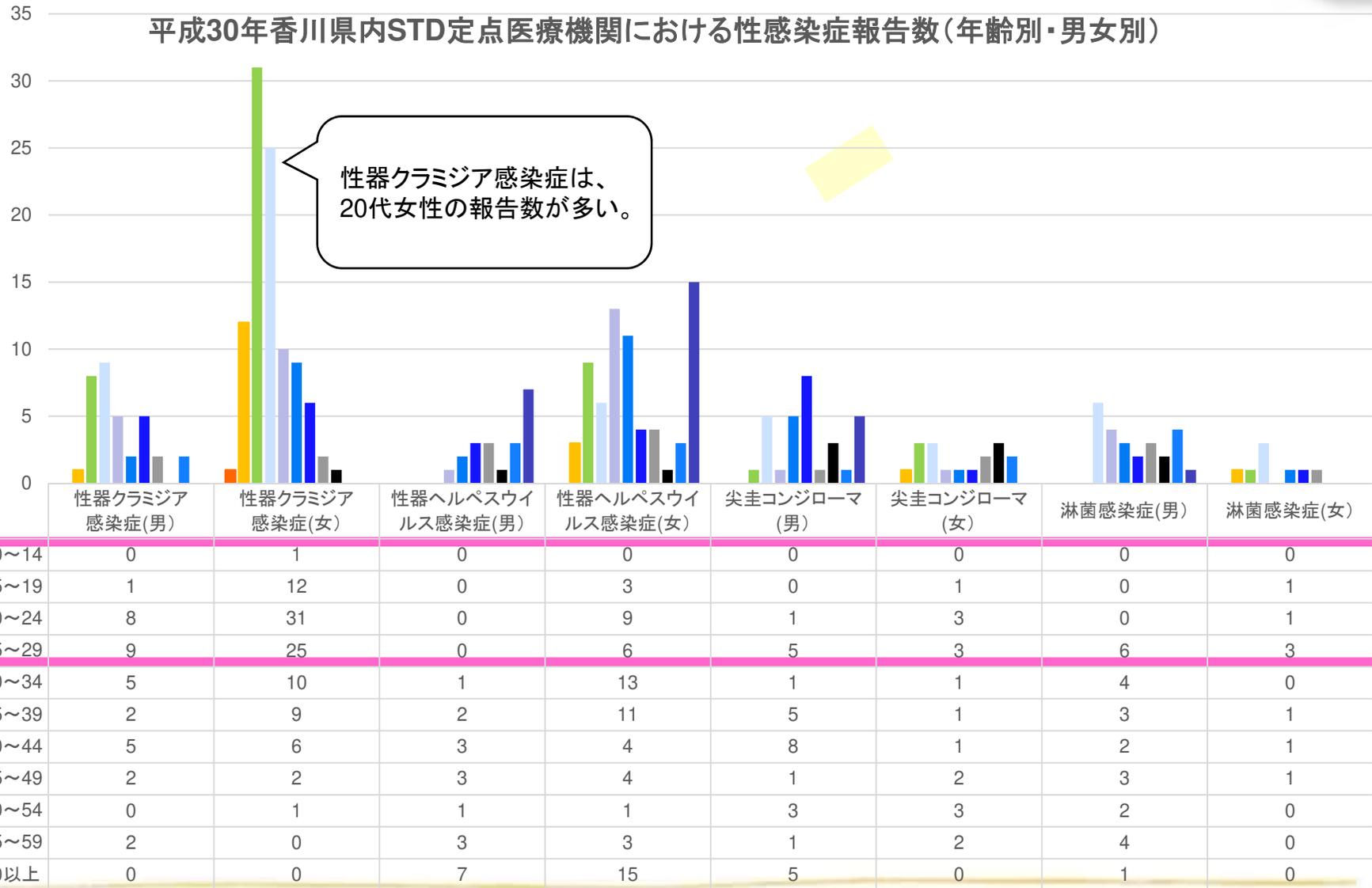


全国と同様に、性器クラミジアが最も多い。

感染症発生動向調査より

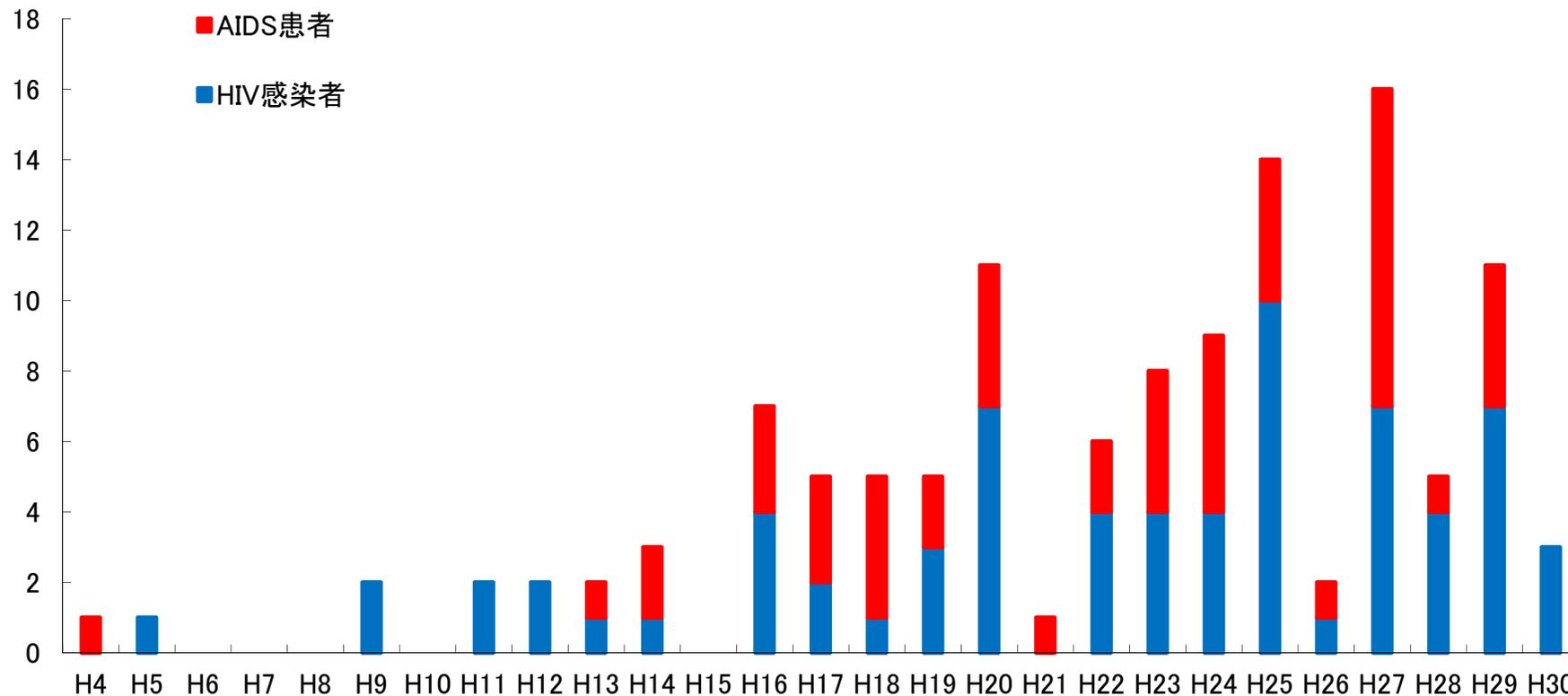
10代の性感染症は、経年的に減少傾向である。

# ③年齢・男女別性感染症報告数（香川県）



# ④HIV感染者・AIDS患者報告数（香川県）

(人) HIV感染者・AIDS患者新規報告数年次推移(香川県)



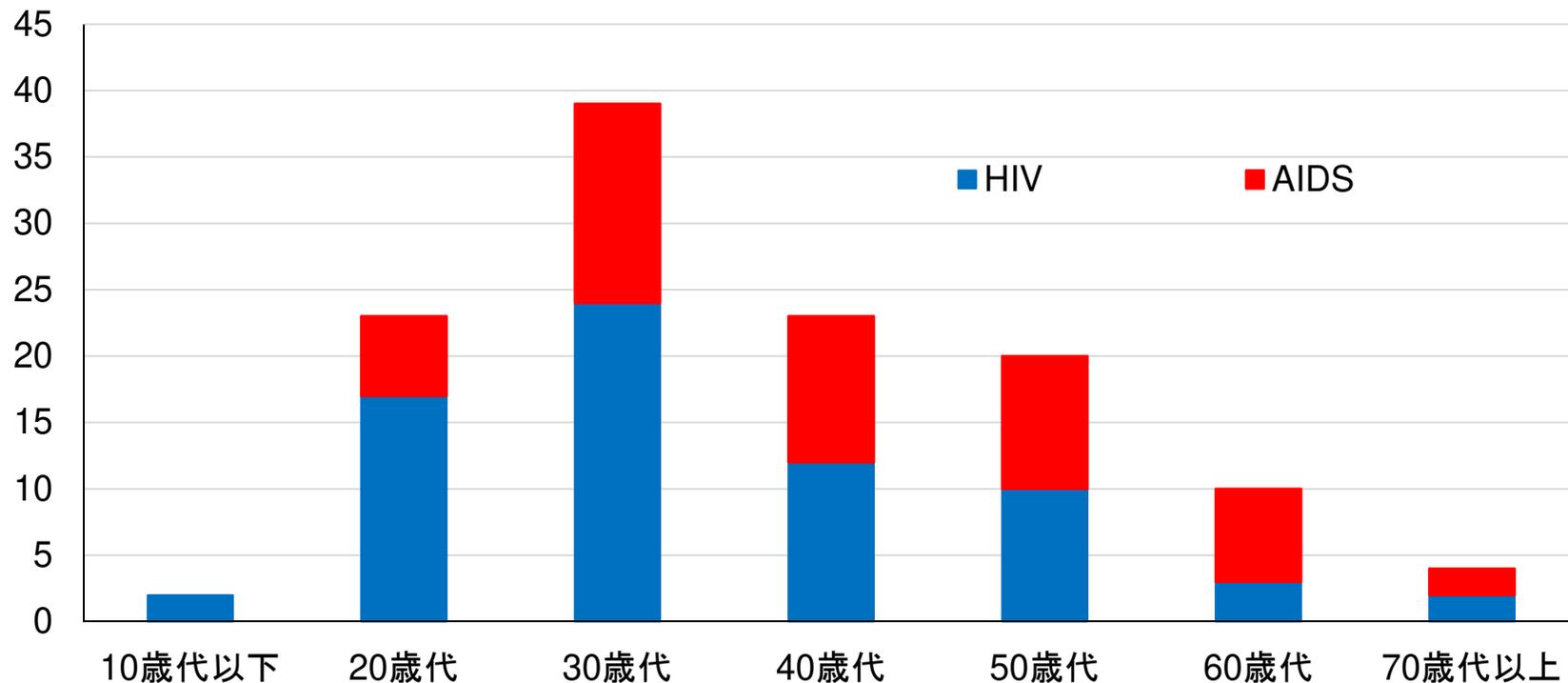
感染症発生動向調査より

○HIV感染者・エイズ患者報告累計(H4~H30)  
 ・HIV感染者70名 ・AIDS患者51名

**いきなりエイズ**(届出時すでにAIDSを発症している人)が57.9%を占めている。  
 早期発見、早期治療が重要！

## ⑤ HIV感染者・AIDS患者の新規報告年齢別状況 (香川県)

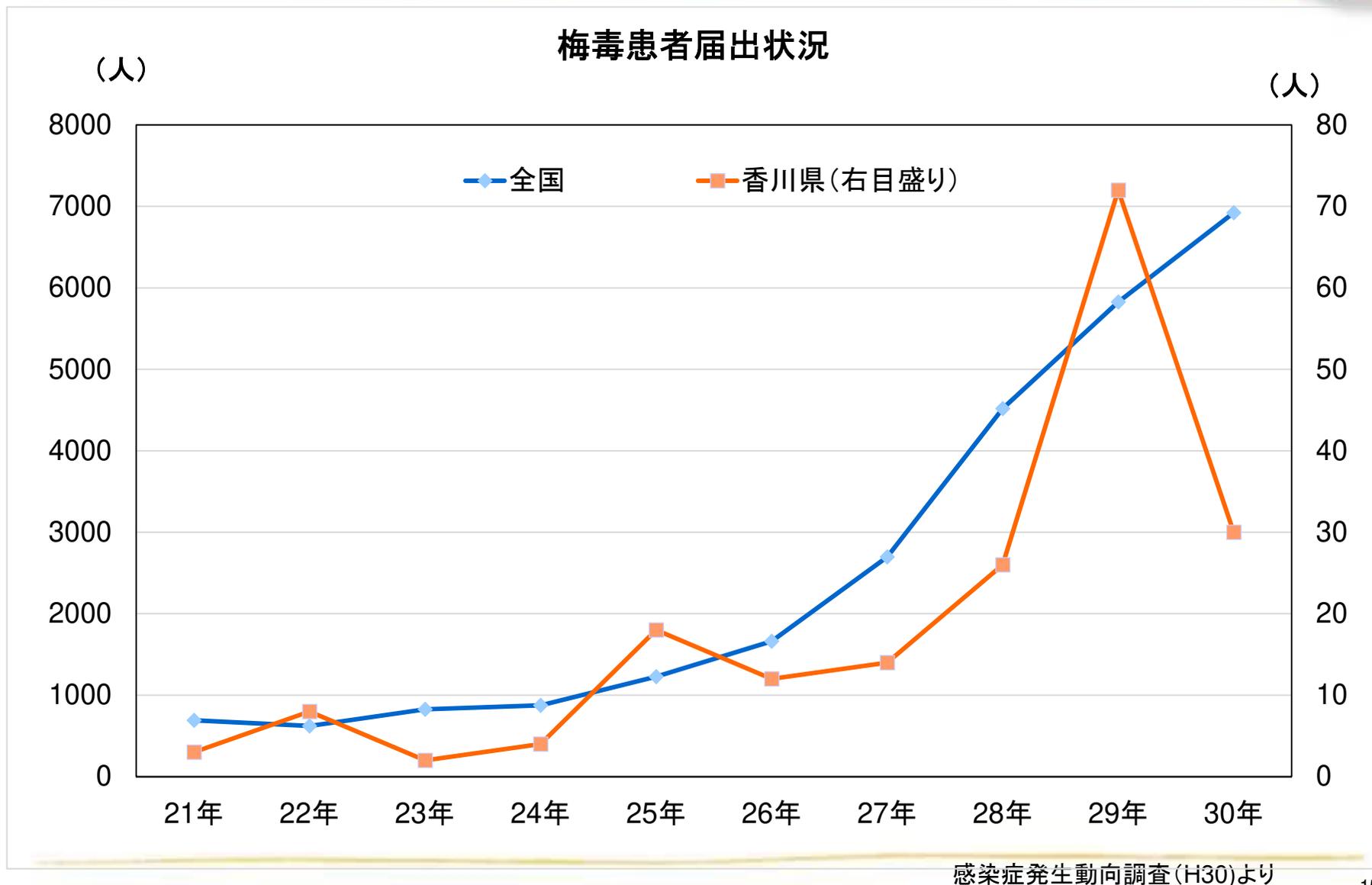
香川県におけるHIV感染者・AIDS患者の新規報告年齢別状況(H4～H30)



・平成25年に初めて10代のHIV感染者の届出があった

性感染症(クラミジアなど)があると、  
HIVに感染しやすくなるので注意が必要。

## ⑥梅毒患者報告数の年次推移 (香川県)



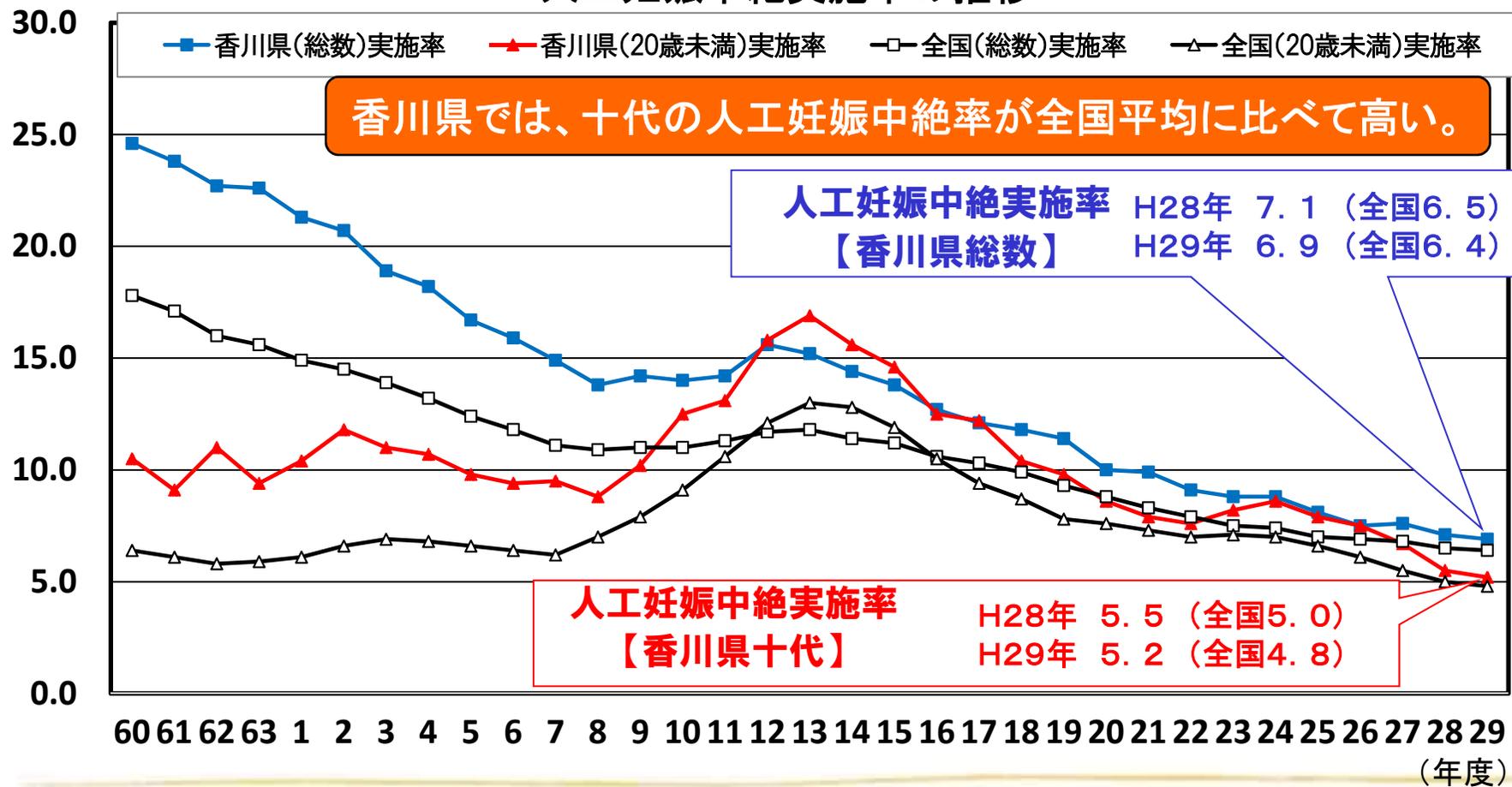
# (5) 人工妊娠中絶実施率の動向

## ①人工妊娠中絶実施率の推移 (全国・香川県)

健やか親子21 (第2次)中間評価(10年後)目標：6.0

(実施率)

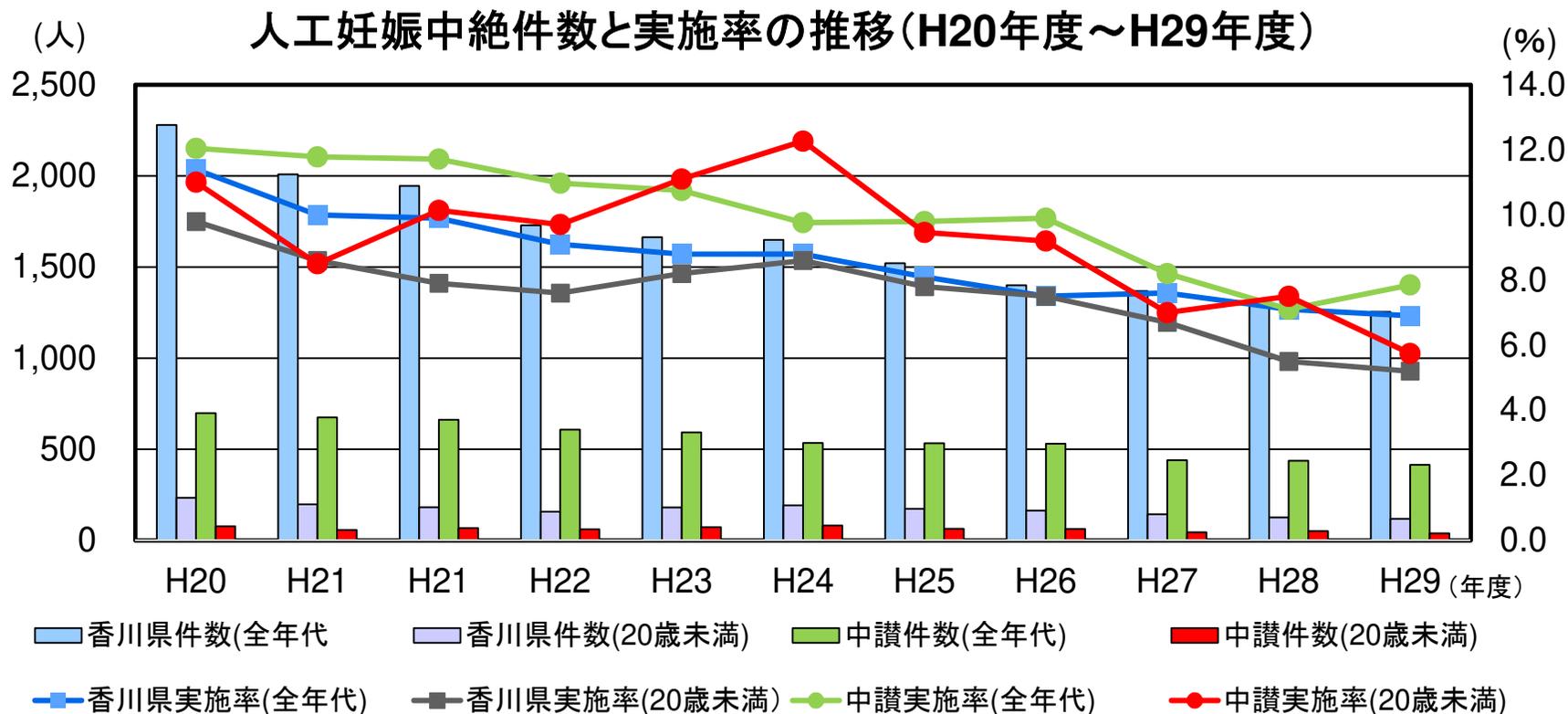
人工妊娠中絶実施率の推移



## ②人工妊娠中絶件数及び実施率の推移

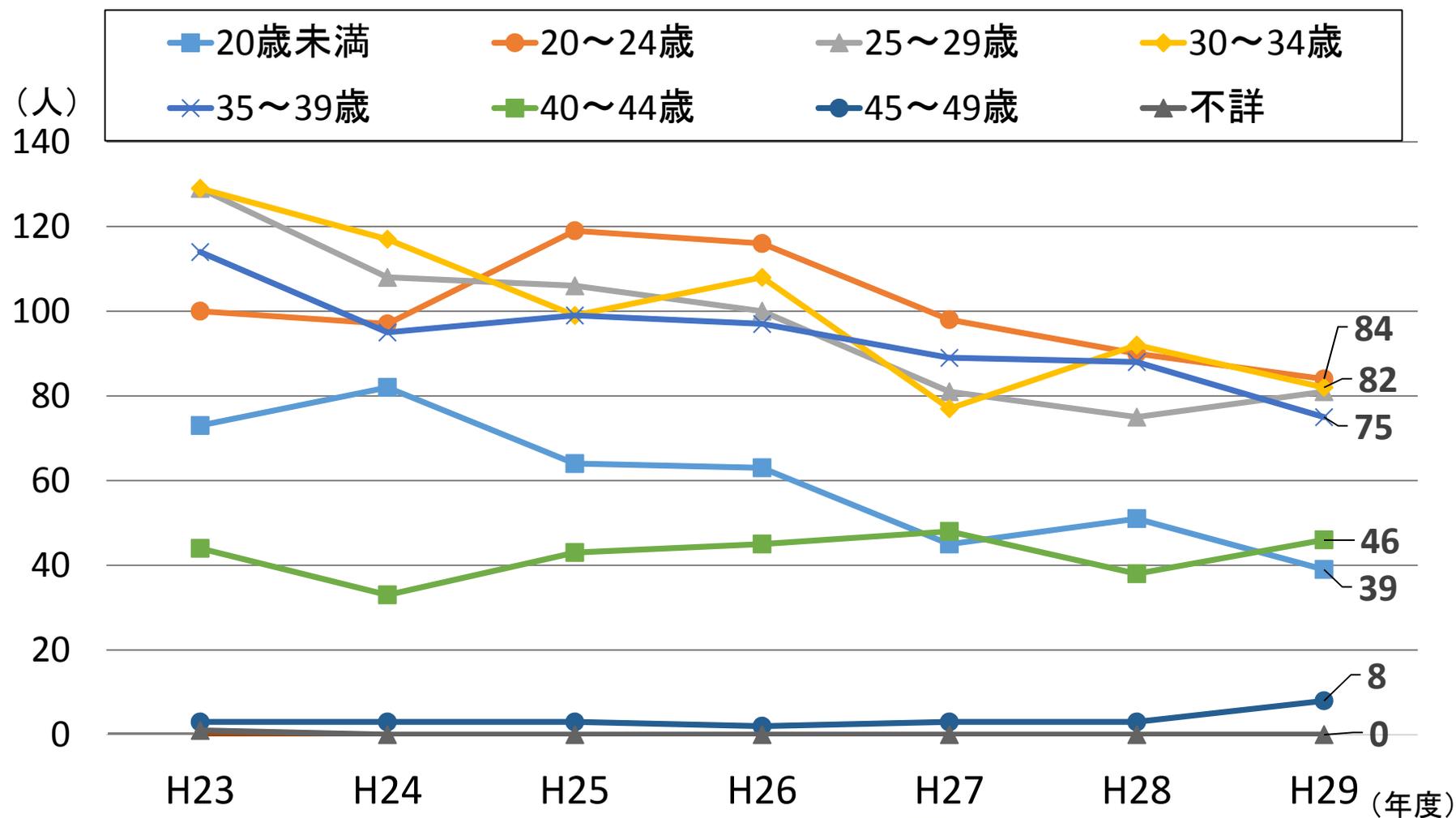
(香川県・中讃管内)

中讃管内の十代の人工妊娠中絶実施率は、香川県より高い  
 (全年代) 香川県6.9<中讃管内7.9 (十代) 香川県5.2<中讃管内5.7



### ③年齢別人工妊娠中絶件数の推移 (中讃管内)

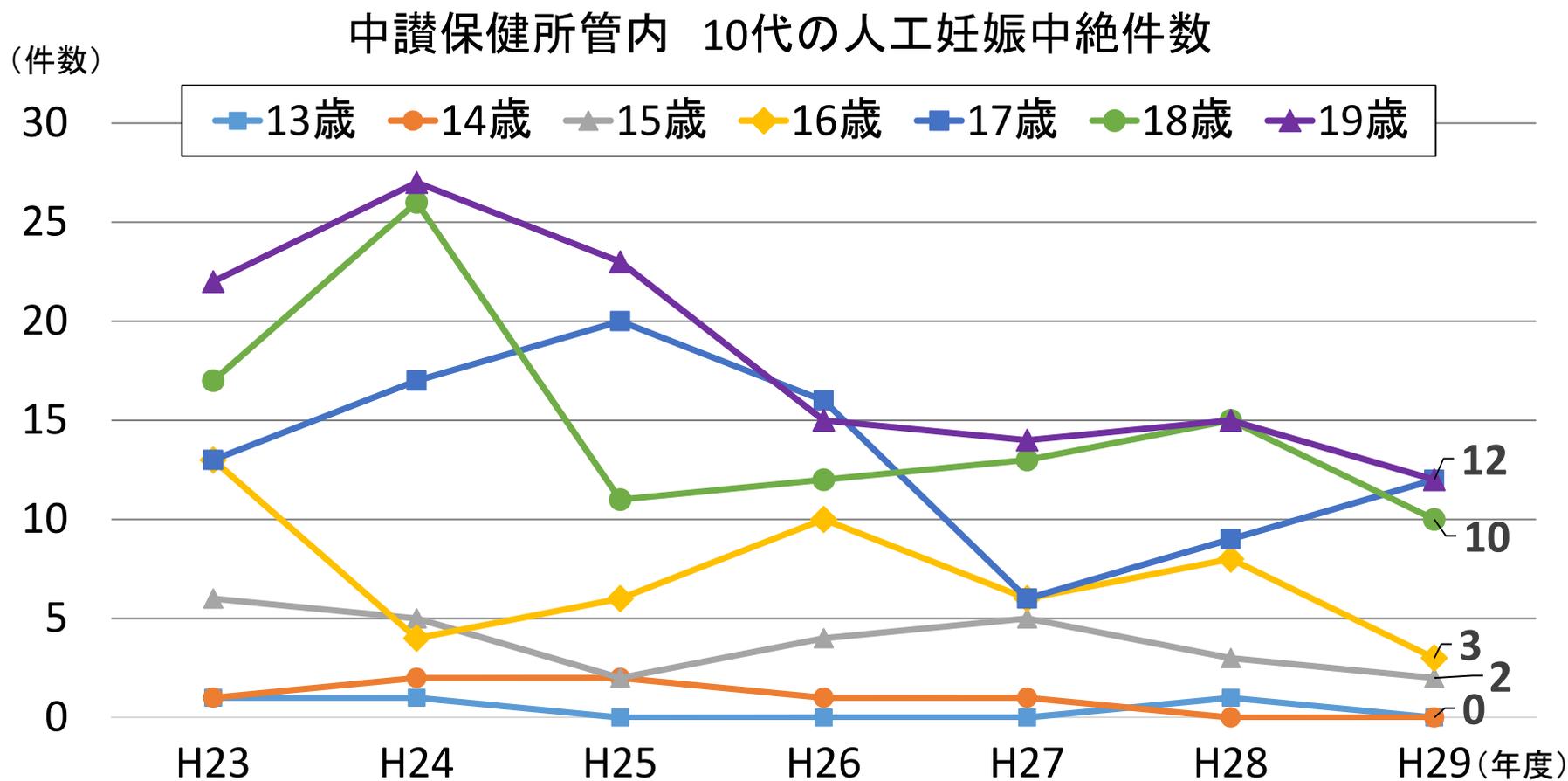
中讃管内 人工妊娠中絶件数(平成23年度～29年度)



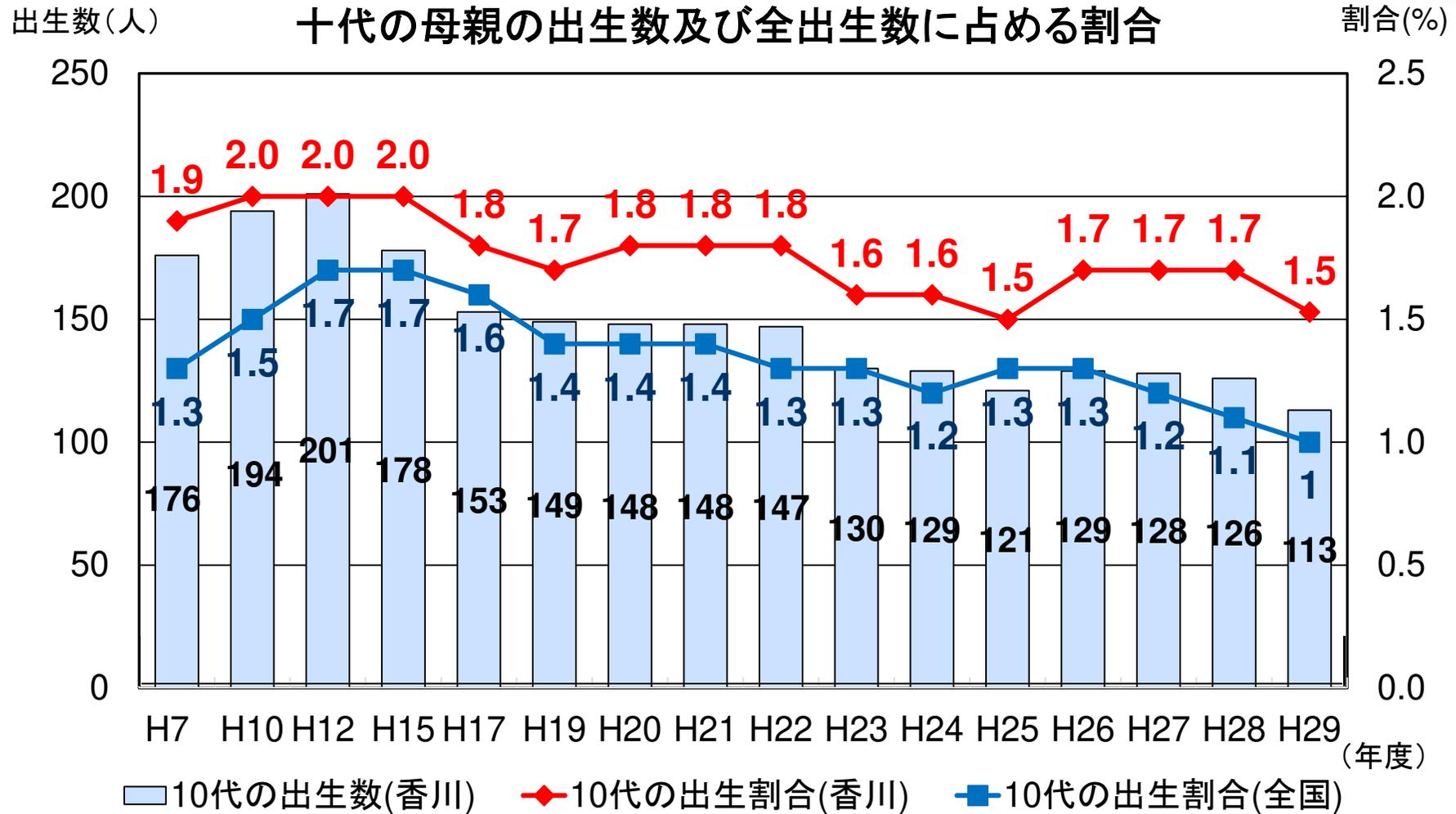
## ④十代の人工妊娠中絶件数の推移 (中讃管内)

H29年度の中讃保健所管内の人工妊娠中絶件数

13~15歳 (中学生)・・・2件 16~18歳 (高校生)・・・25件



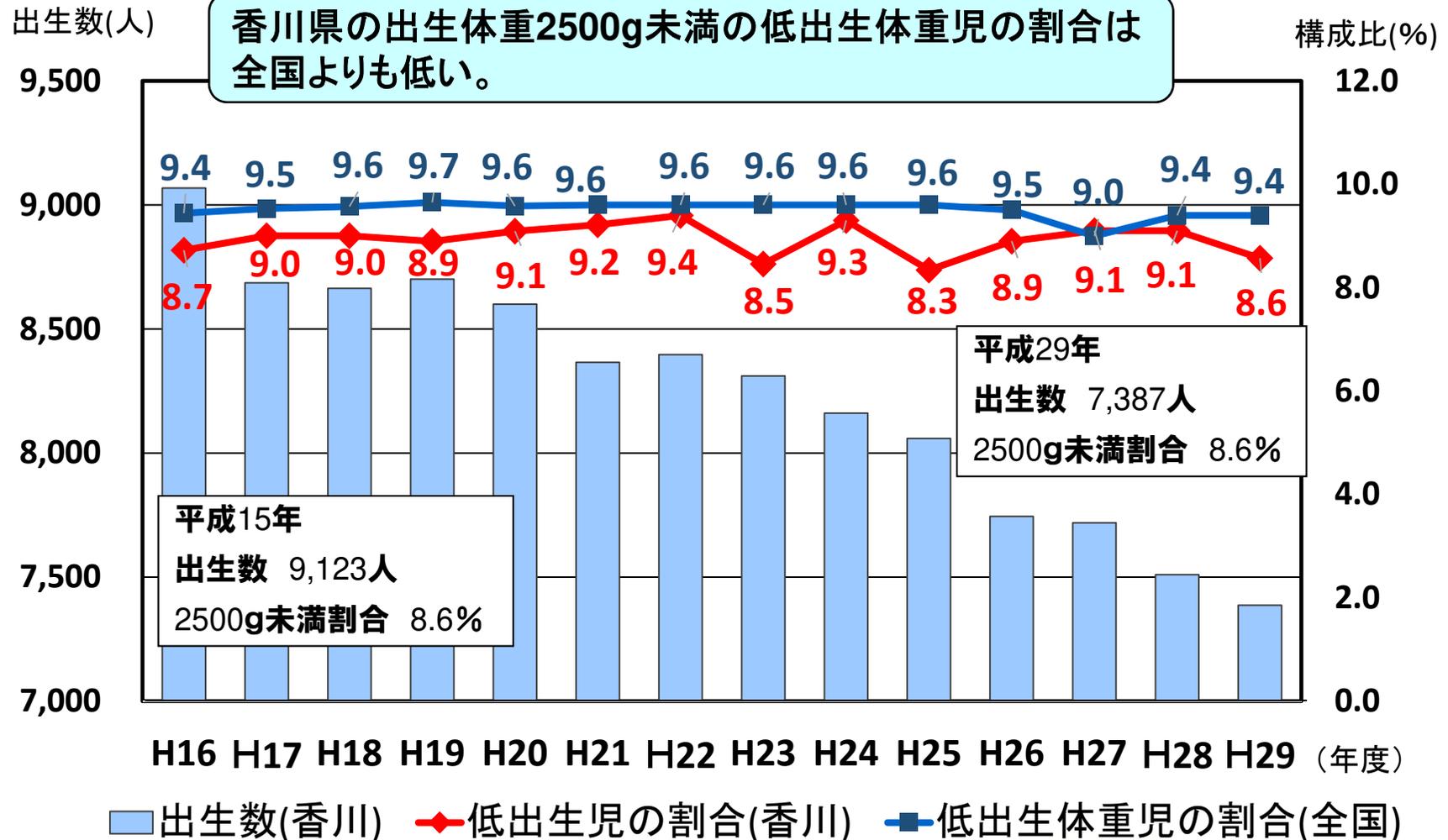
# ⑤若年出産の状況（全国・香川県）



香川県では、全出生数に占める十代の母の出生割合が全国に比べて高い。

# ⑥低出生体重児の増加 (全国との比較)

健やか親子21(第2次)目標:減少



## (6) 薬物依存

### ① 未成年者の検挙者(補導者)数の推移 (香川県)

※香川の薬物乱用状況－平成30年版－(香川県、香川県薬物乱用対策推進本部) より

		H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
覚醒剤事犯	検挙者数	66	102	108	112	83	76	83	75	93	72
	うち女性数	(15)	(15)	(24)	(26)	(15)	(16)	(16)	(15)	(20)	(9)
	再)未成年	3	6	3	0	1	1	0	0	1	1
	うち女性数	(3)	(3)	(1)	(0)	(1)	(1)	(0)	(0)	(1)	(0)
大麻事犯	検挙者数	34	20	18	7	11	5	7	21	14	18
	再)未成年	1	0	0	1	0	0	0	0	0	2
再)未成年者の計		4	6	3	1	1	1	0	0	1	3

○未成年者の検挙者あり。

○女性も含まれている。(覚醒剤)

○たばこは薬物依存のゲートウェイ(入口)である。

## ②覚醒剤事犯検挙者数（香川県・全国）



※香川の薬物乱用状況－平成30年版－（香川県、香川県薬物乱用対策推進本部）より

（単位：人）

区分		23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年
香川県	検挙者数	112	83	76	83	75	93	72
	人口10万人当たり 検挙者数	11.3	8.4	7.7	8.5	7.7	9.6	7.4
全 国	検挙者数	12,083	11,842	11,127	11,148	11,200	10,607	10,284
	人口10万人当たり 検挙者数	9.5	9.3	8.7	8.8	8.8	8.4	8.1

# (7) メンタルヘルス

## ①十代の自殺死亡率（全国）

健やか親子 21(第2次)

	ベースライン (平成24年)	直近値 (平成28年)	中間評価目標 (5年後)	最終評価目標 (10年後)
10歳～14歳	1.3 (男 1.8/女 0.7)	1.3 (男1.5/女1.0)	減少	減少
15歳～19歳	8.5 (男11.3/女5.6)	7.2 (男9.8/女4.5)	減少	減少

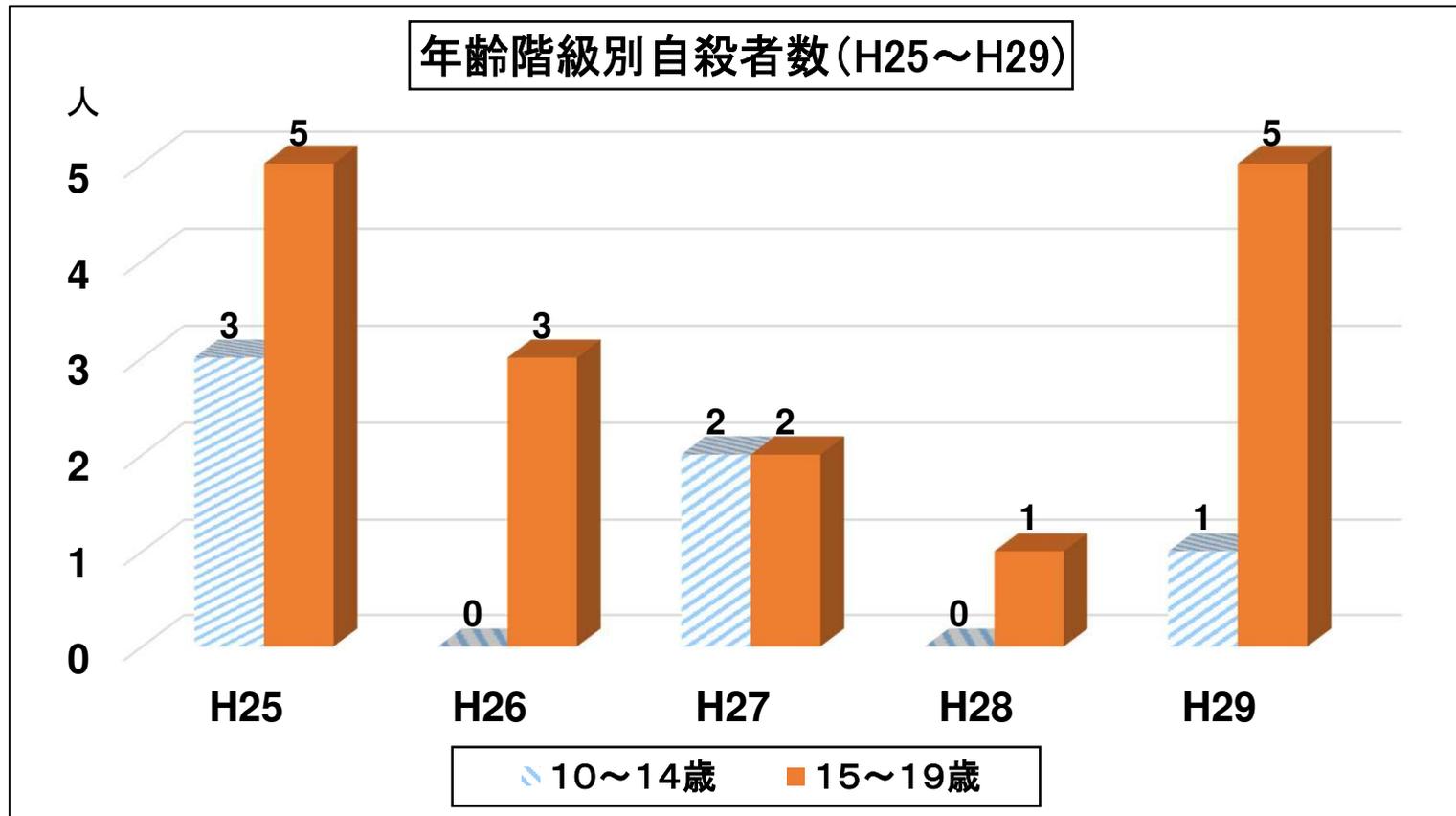
人口動態統計より

○10歳～14歳の自殺率が高くなっている。また、15歳～19歳の自殺率を見ると、直近値は減少しているものの、依然高い状態である。

○原因・動機では、男女ともに「学校問題(進路、学業不振等)」、「健康問題(うつ病や身体の病気等)」、「家庭問題(家族の将来悲観等)」が多い。

(警察庁平成28年中における自殺の状況より)

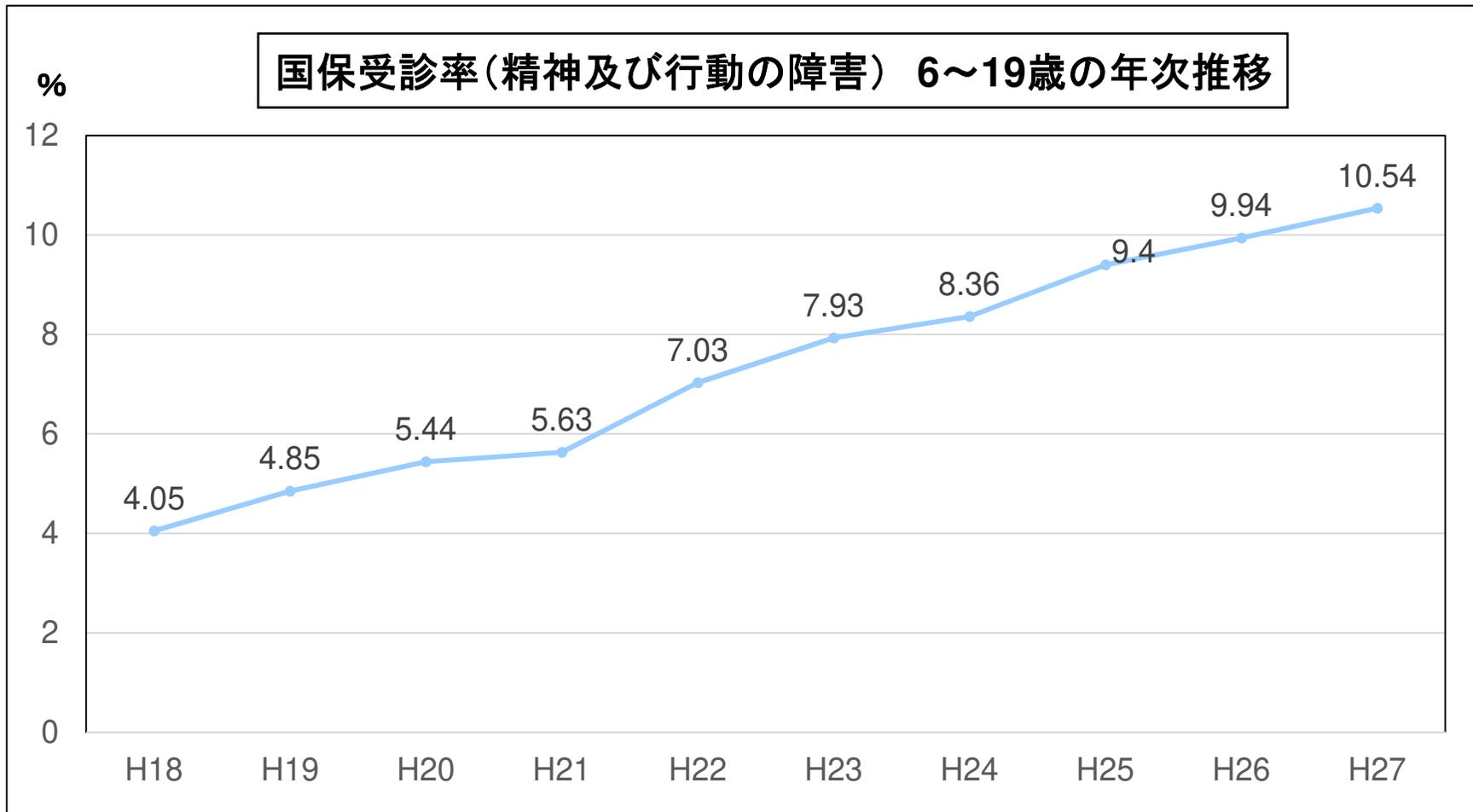
## ②香川県の十代の自殺者の状況



人口動態統計より

○H25年～29年の5年間で、合計22人(10～14歳6人・15～19歳16人)が10代で自らの命を絶っている。

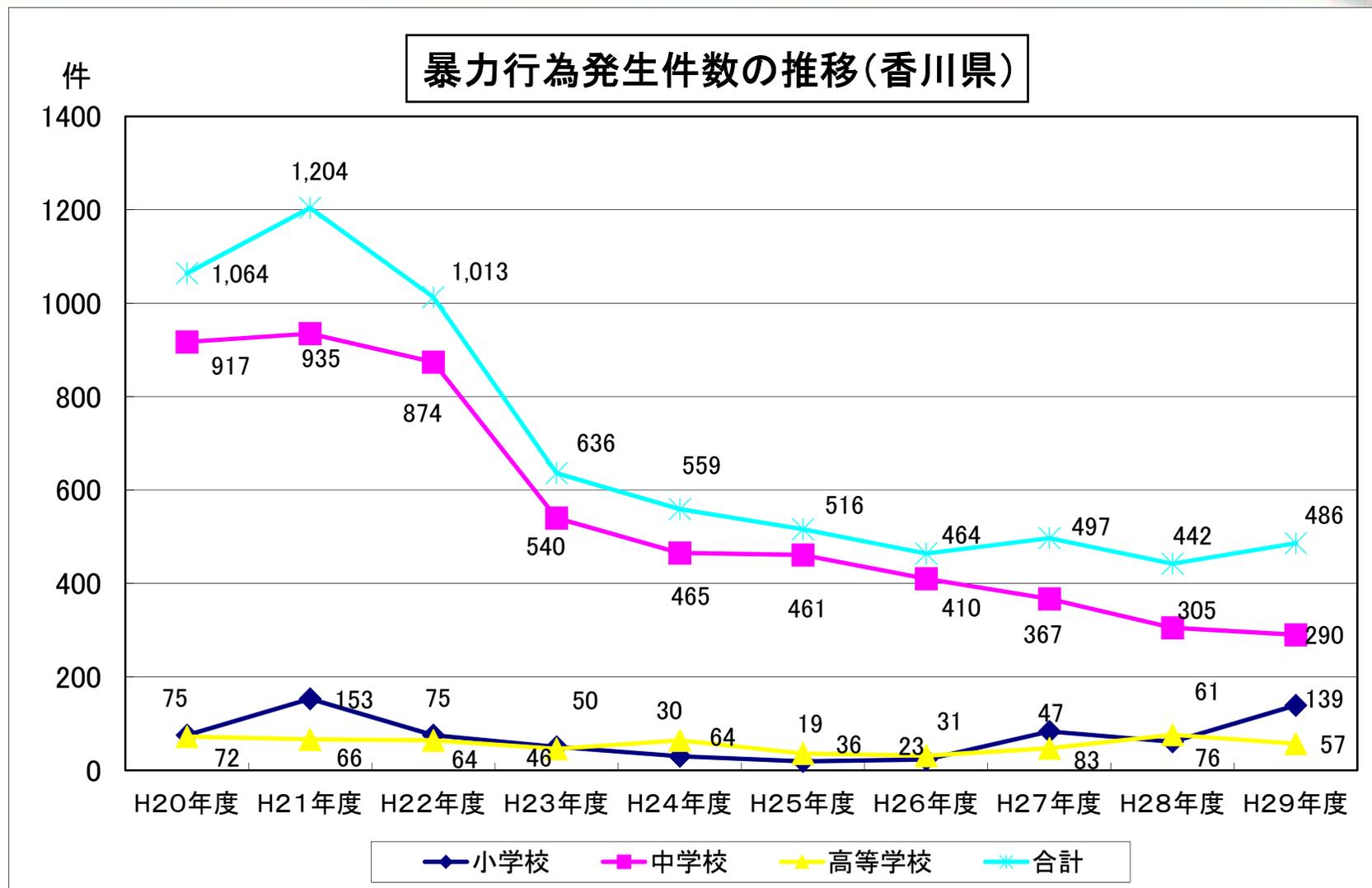
### ③国保受診率(精神及び行動の障害)の年次推移 (香川県)

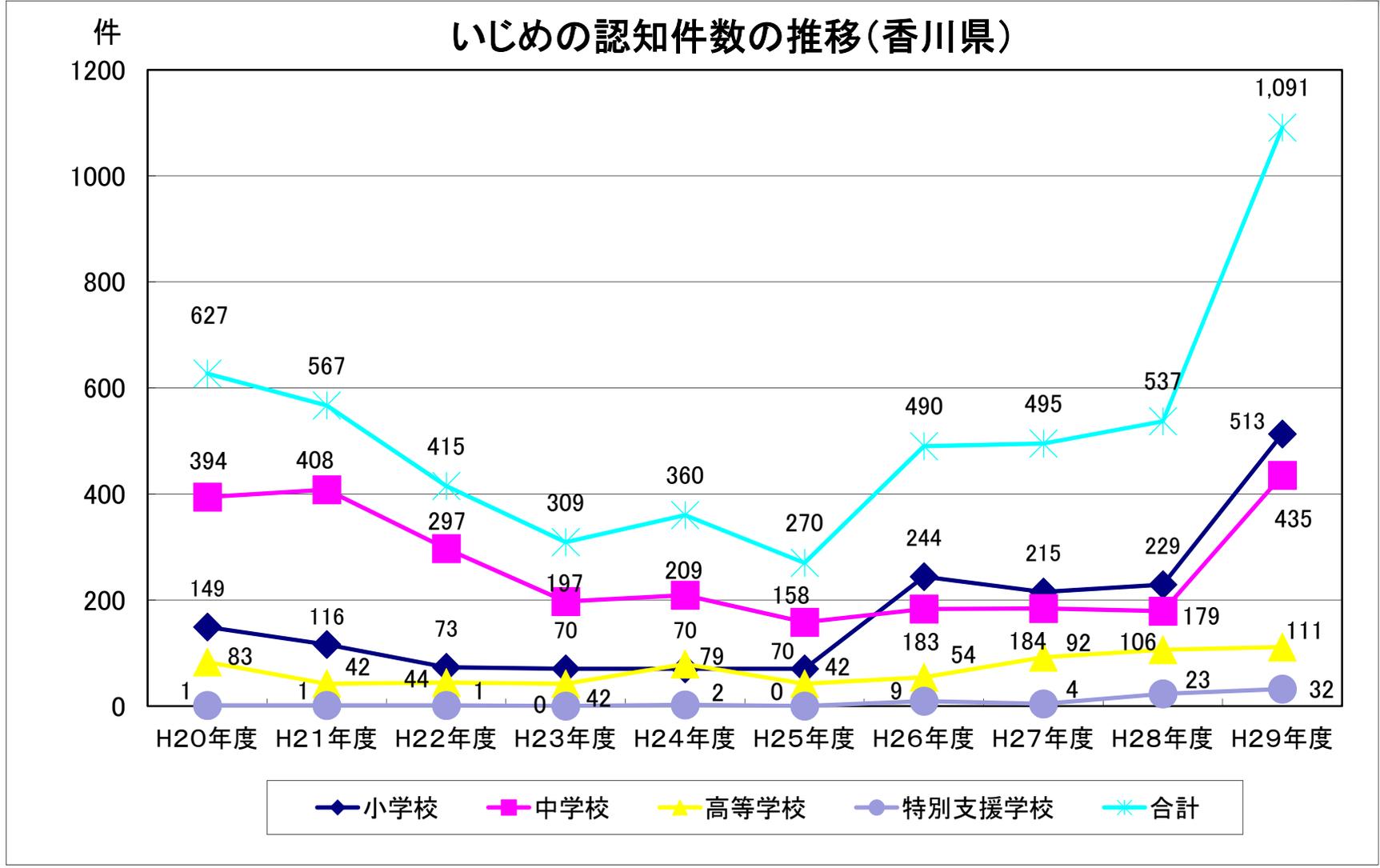


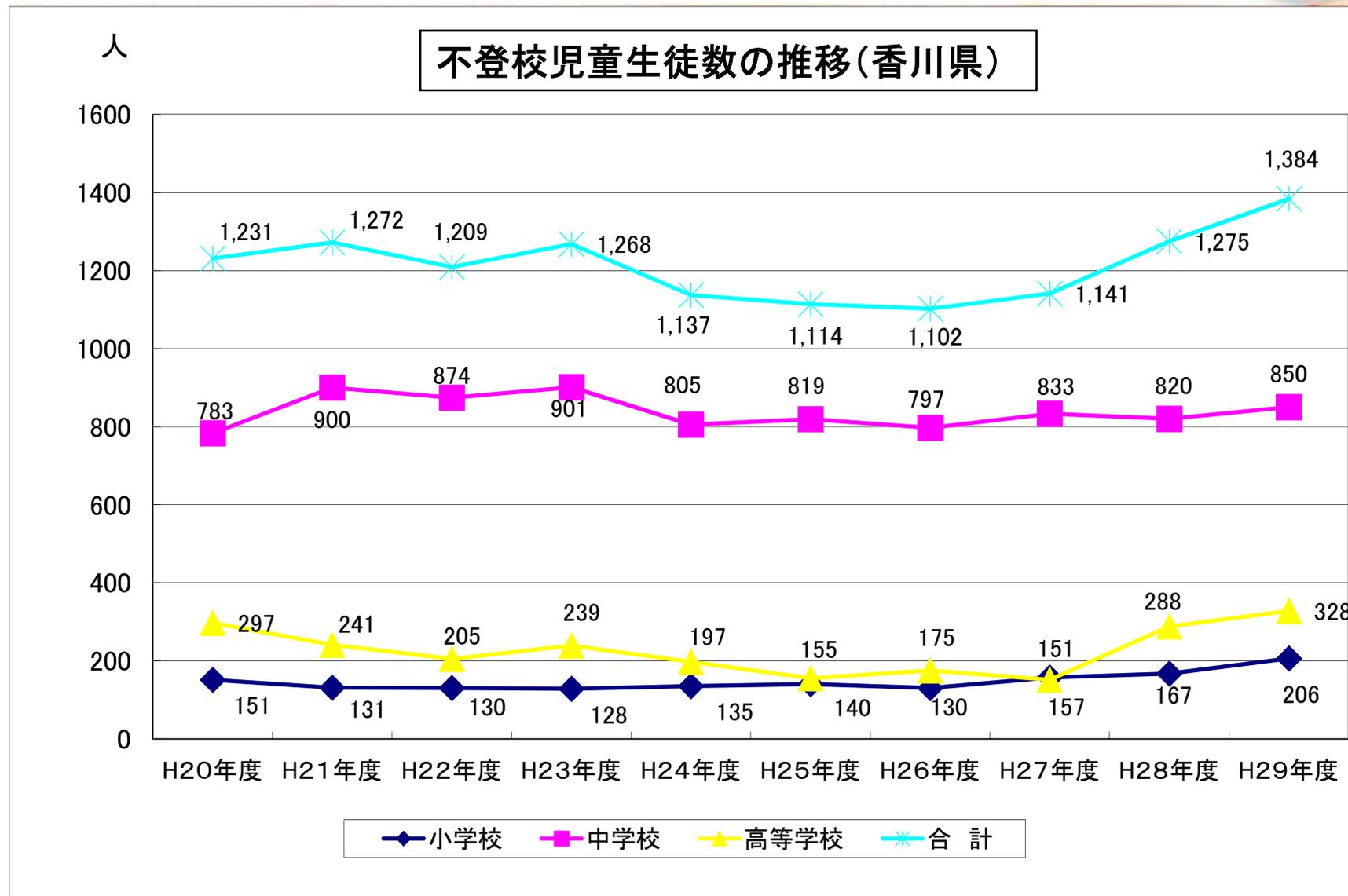
香川県国民健康保険病類統計総合資料より

○精神疾患の受診率は、年々増加傾向にある。

## ④暴力行為・いじめ・不登校の状況（香川県）







## ⑤自尊感情や道徳性に関する調査 (香川県)

「当てはまる」と解答した児童生徒の割合(%) 平成24年度  
平成27年度

質 問 事 項	小 学 校			中 学 校		
	県	全国	全国との差	県	全国	全国との差
ものごとを最後までやりとげて、うれしかったことがありますか	72.7	72.3	0.4	65.1	68.8	▲3.7
	73.8	72.9	0.7	67.7	72.5	▲4.8
自分には、よいところがあると思いますか	34.4	32.5	1.9	21.7	24.0	▲2.3
	33.9	36.3	▲2.4	22.6	26.2	▲3.6
将来の夢や目標を持っていますか	67.3	69.8	▲2.5	40.9	45.5	▲4.6
	67.6	70.5	▲2.9	41.1	46.0	▲4.9
学校のきまり(規則)を守っていますか	37.2	41.6	▲4.4	51.3	51.5	▲0.2
	38.4	41.7	▲3.3	56.4	58.5	▲2.4
人の役に立つ人間になりたいと思いますか	74.1	72.8	1.3	68.3	70.1	▲1.8
	73.3	71.6	1.7	71.4	72.0	▲0.6

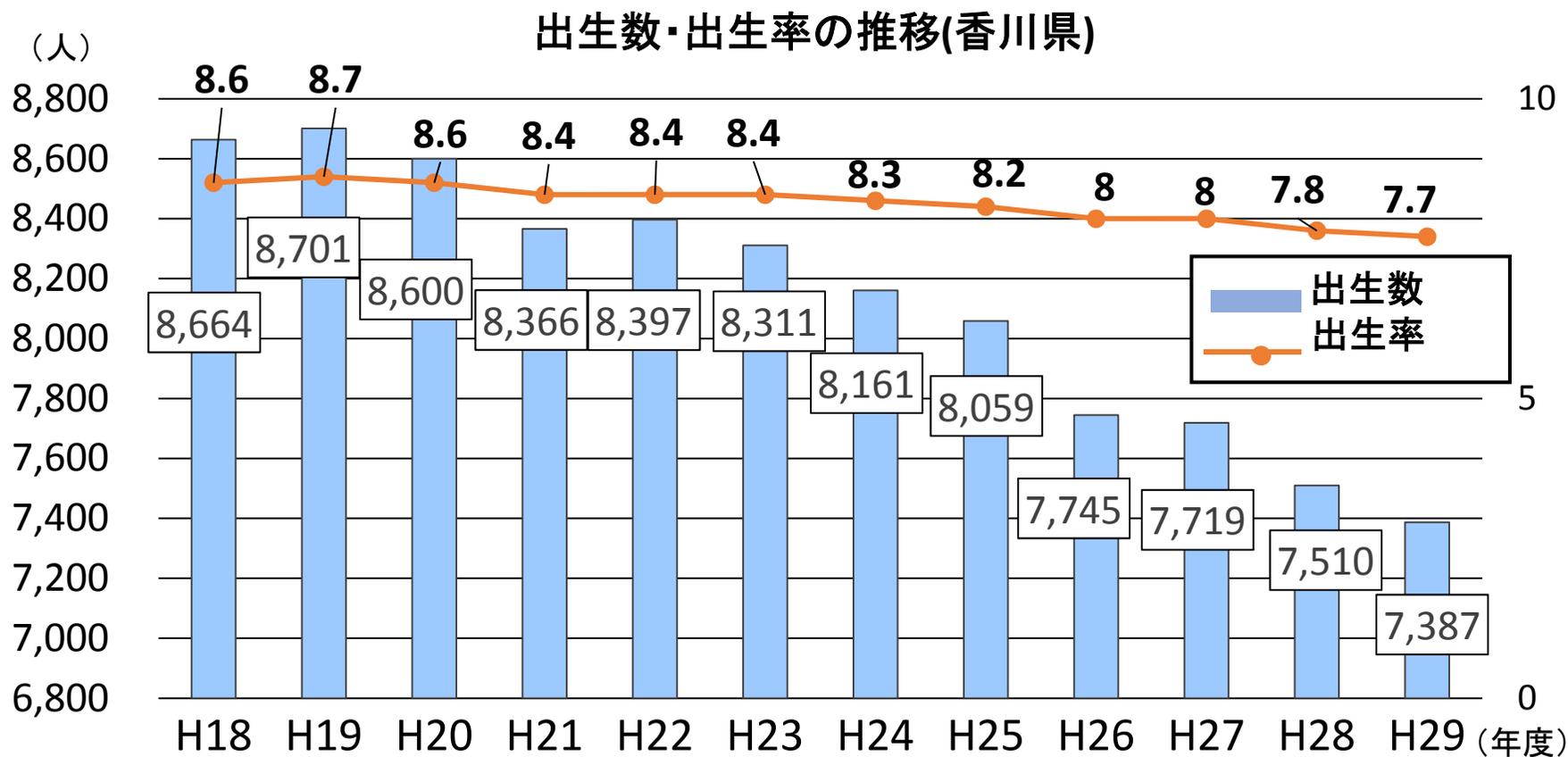
回答は、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」「どちらかといえば当てはまらない」「当てはまらない」から選択

平成24年度・平成27年度 全国学力・学習状況調査児童生徒質問紙調査から作成

# 参考資料 1

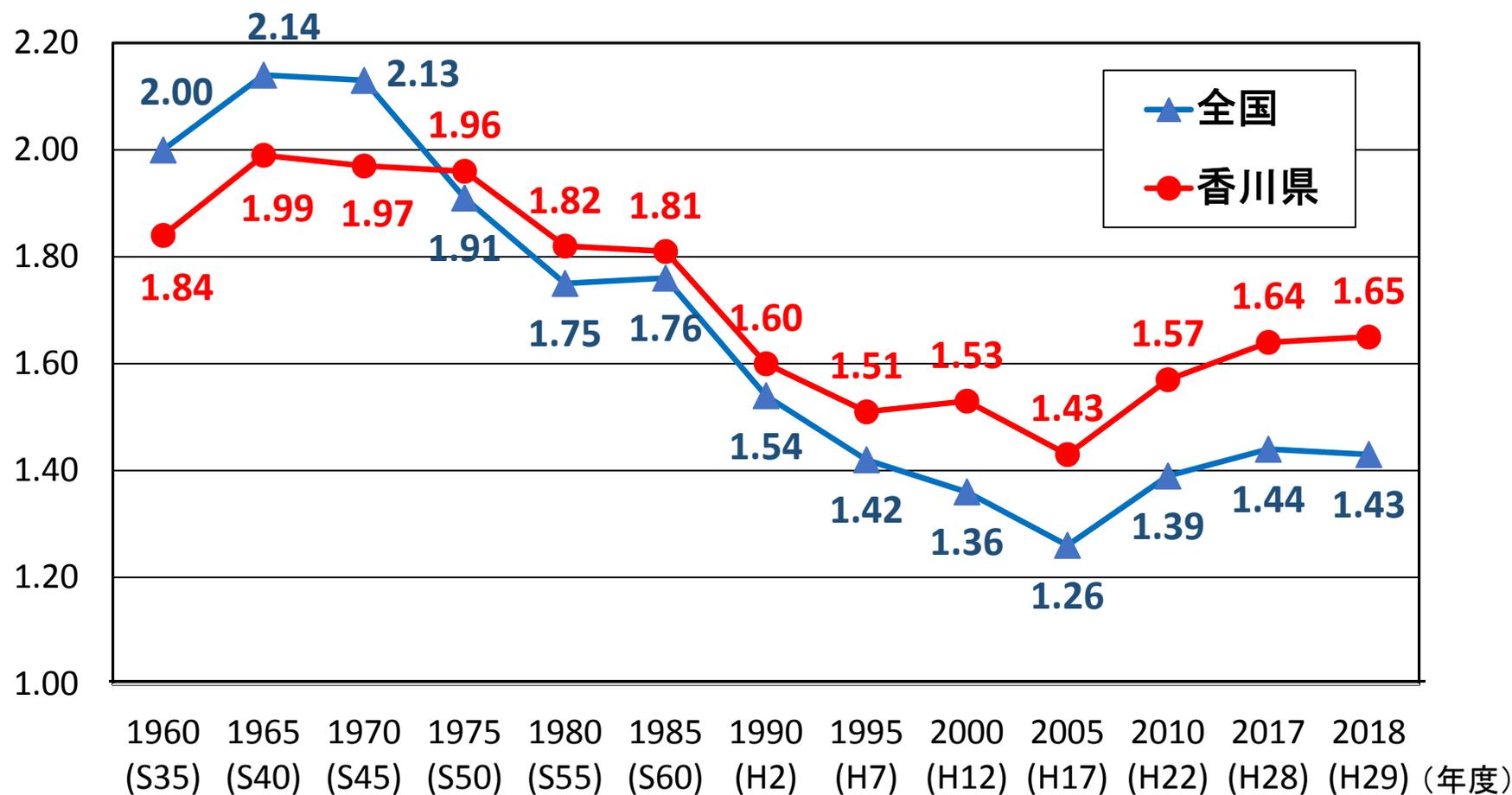
## (1) 母子保健

### ① 出生数・出生率の推移



## ②合計特殊出生率の推移

### 合計特殊出生率の推移(全国・香川県)



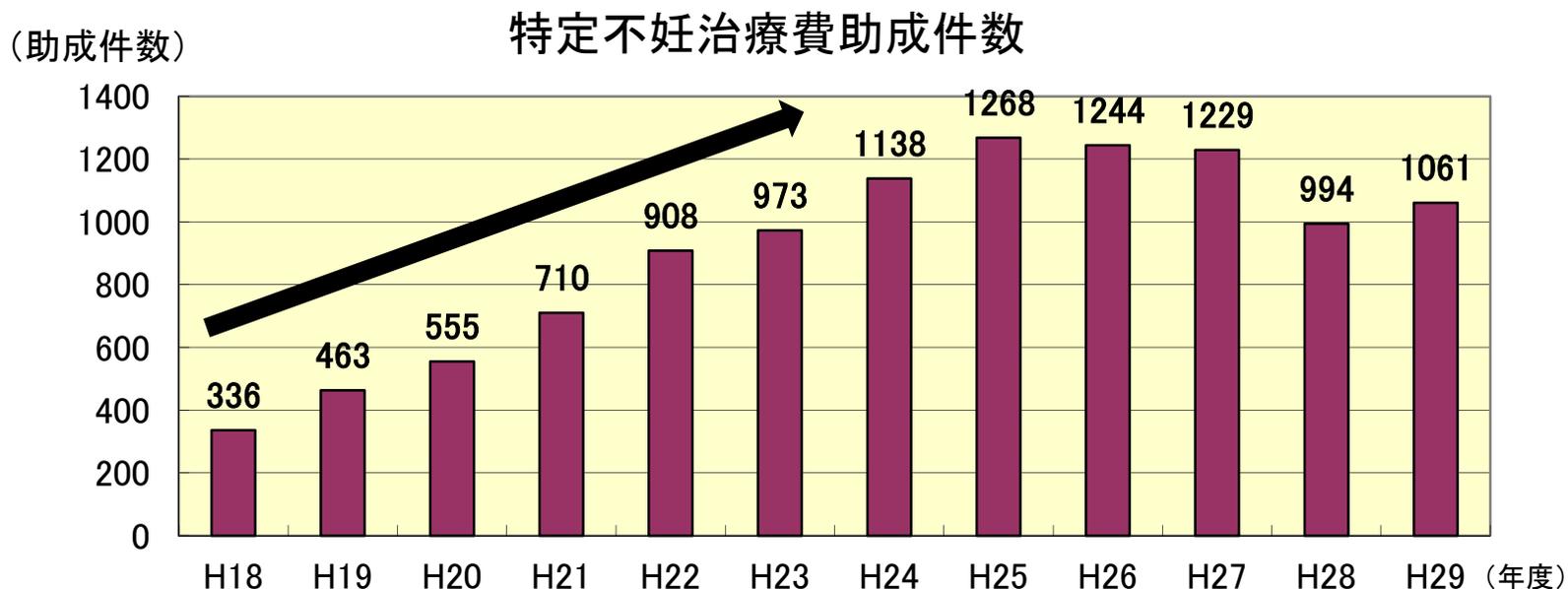
### ③低出生体重児の増加（香川県）

	出生数 (香川)	低出生体重児(2500g未満)							
		計		低出生体重児(狭義) 1500g~2500g 未満		極低出生体重児 1000~1500g 未満		超低出生体重児 1000g未満	
		出生数	構成比%	出生数	構成比 (%)	出生数	構成比(%)	出生数	構成比(%)
昭和55	12,993	627	4.8	579	4.5	34	0.3	14	0.1
60	11,529	566	4.9	513	4.4	39	0.3	14	0.1
平成2	9,555	615	6.4	559	5.9	38	0.4	18	0.2
7	9,301	645	6.9	586	6.3	47	0.5	24	0.3
12	9,808	810	8.3	740	7.5	57	0.6	28	0.3
17	8,686	782	9.0	727	8.4	31	0.4	24	0.3
22	8,397	789	9.4	726	8.6	42	0.5	21	0.3
29	7,387	633	8.6	597	8.1	23	0.3	13	0.2

## ④不妊症の増加

### ○特定不妊治療費助成事業（香川県）

不妊治療のうち、医療保険適用外で高額な治療費がかかる体外受精及び顕微授精について治療費を助成している。



#### <不妊症が増えている背景>

- ・晩婚化及び晩産化……卵子の数の減少、子宮をはじめとする生殖器のトラブル(子宮筋腫・子宮内膜症・子宮がん・乳がんなど)など妊娠する能力(妊孕性)の低下。
- ・初交開始の低年齢化……正しい知識の乏しさから、若者の性感染症の罹患や人工妊娠中絶の増加。
- ・その他の背景や原因……ストレスを原因の一つとする排卵障害や月経異常。喫煙や飲酒。子宮内膜症。男性側の原因(精子の減少、勃起障害、射精障害)

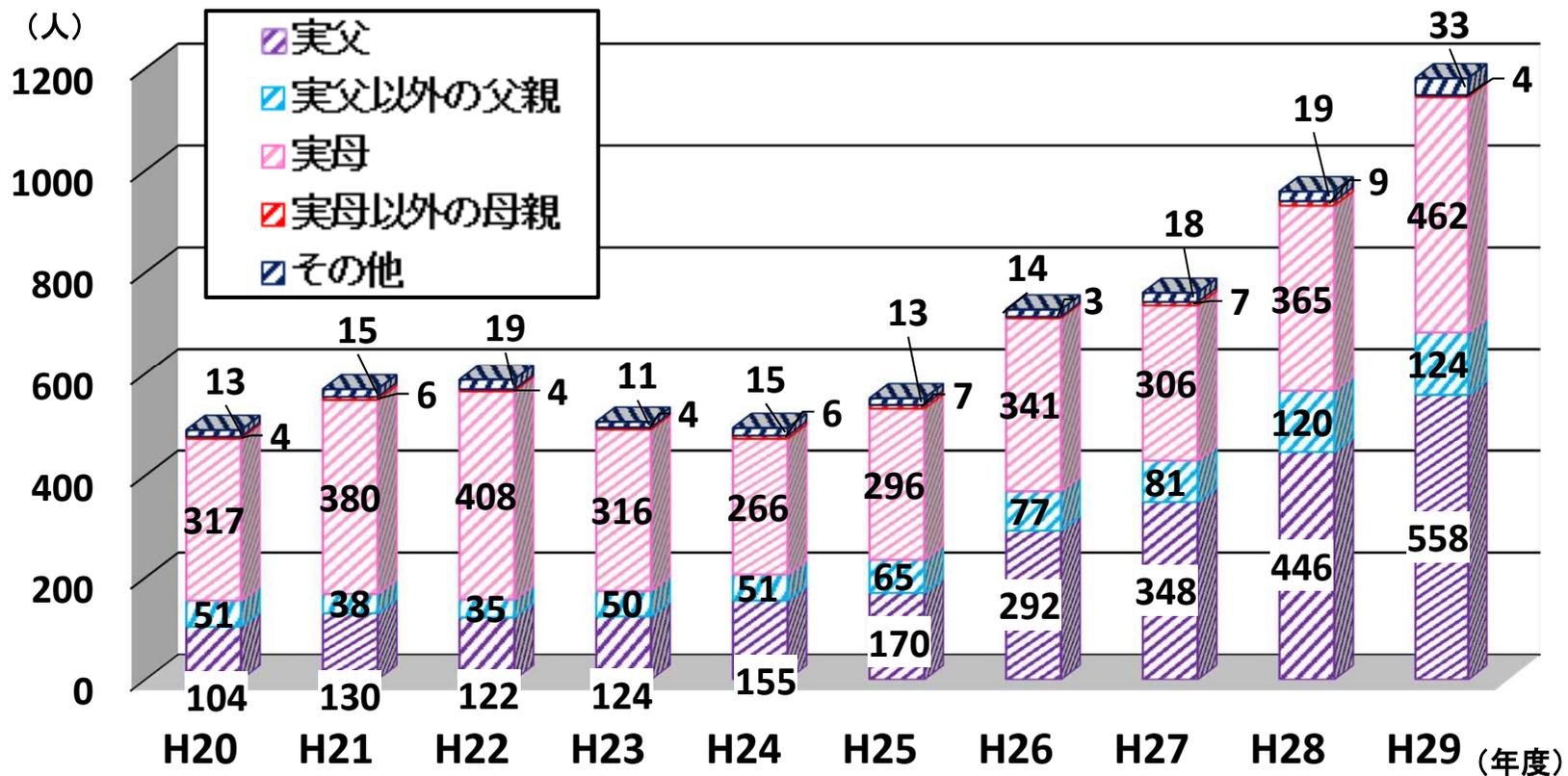
「かがわの母子保健」より

## ⑤児童虐待対応件数

### ○虐待児童の対応件数の年次推移（香川県）

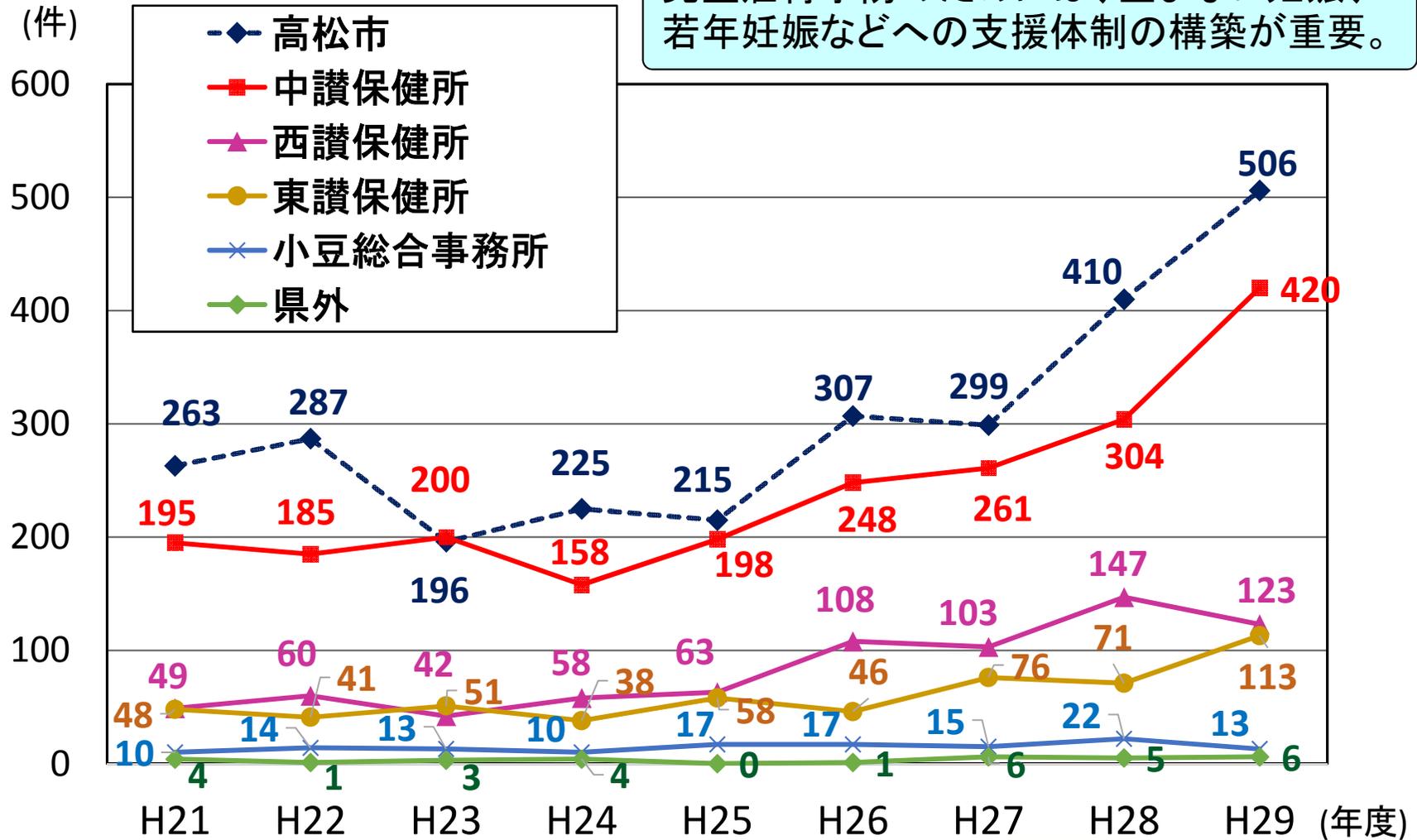
21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
569	588	505	493	551	727	760	959	1181

### ○虐待ケースの主な虐待者（香川県）



# ○保健所別にみた虐待対応件数（香川県）

児童虐待予防のためには、望まない妊娠、若年妊娠などへの支援体制の構築が重要。



## ⑥デートDV

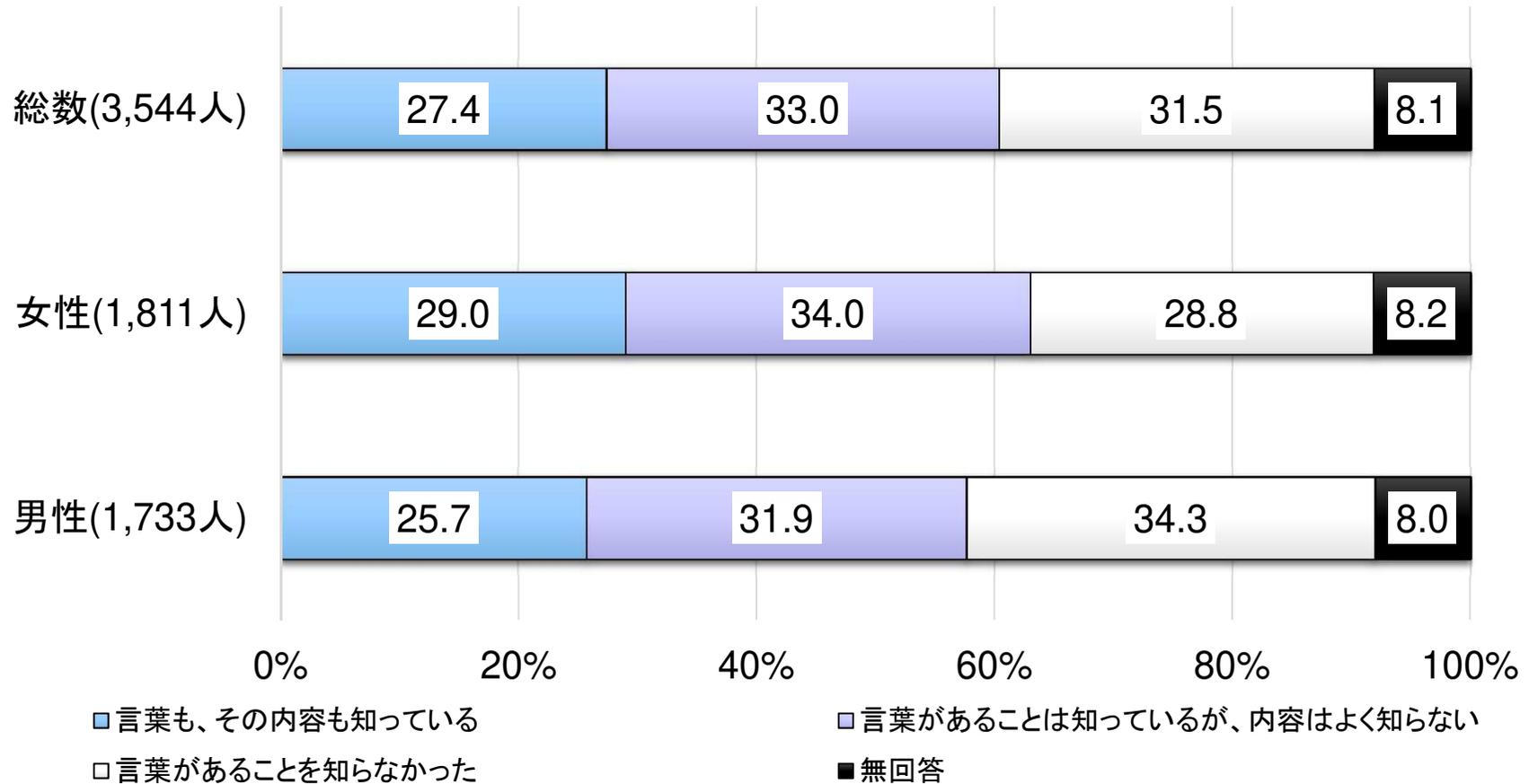
### ○交際相手からの暴力の相談件数（香川県）

女性相談の受付状況から暴力のみを抜粋（来所、電話、Eメール等の相談）

相談主訴(人間関係)		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
夫等からの暴力		499(3)	694(1)	522(5)	631	649(1)	644(12)
子どもからの暴力		62	23	37	26	29	30
親族	親からの暴力	32	68	67	79	71	71
	その他の親族からの暴力	37	22	19	18	34	15
	その他	244	209	160	231	364	234
交際相手	交際相手からの暴力	54	42	37	32	22	45
	同性間の交際相手からの暴力	-	1	1	1	-	2
	その他	23	24	23	46	9	12
その他の者からの暴力		16	28	60	38	56	32

( )は、妻からの暴力の再掲

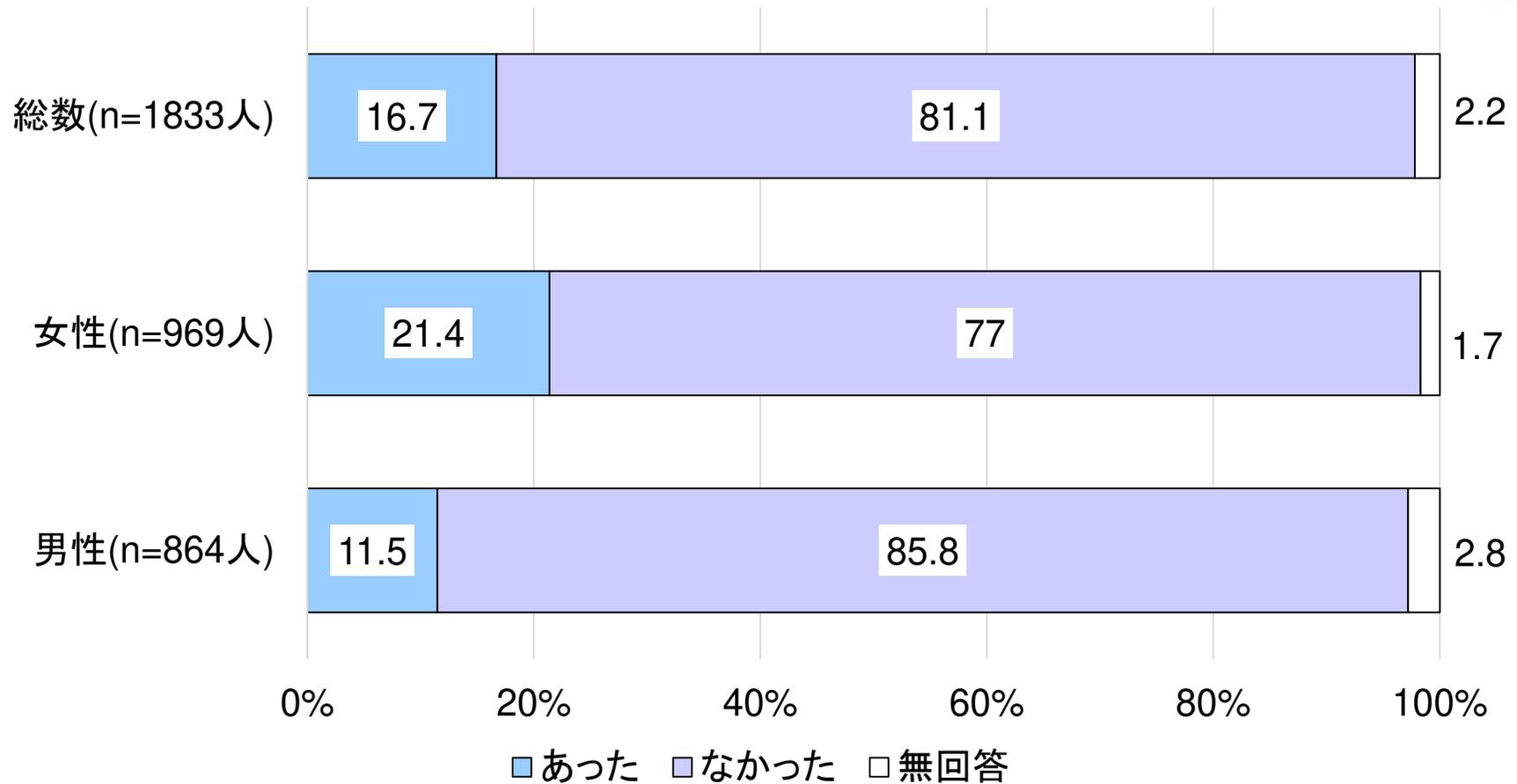
# ○交際相手からの暴力(デートDV)の認知度



内閣府「男女間における暴力に関する調査」(平成26年度調査)

○約3人に1人の人が「交際相手からの暴力」(いわゆる「デートDV」)について、「言葉も、その内容も知っている」と答えている。

## ○交際相手からの被害経験の有無

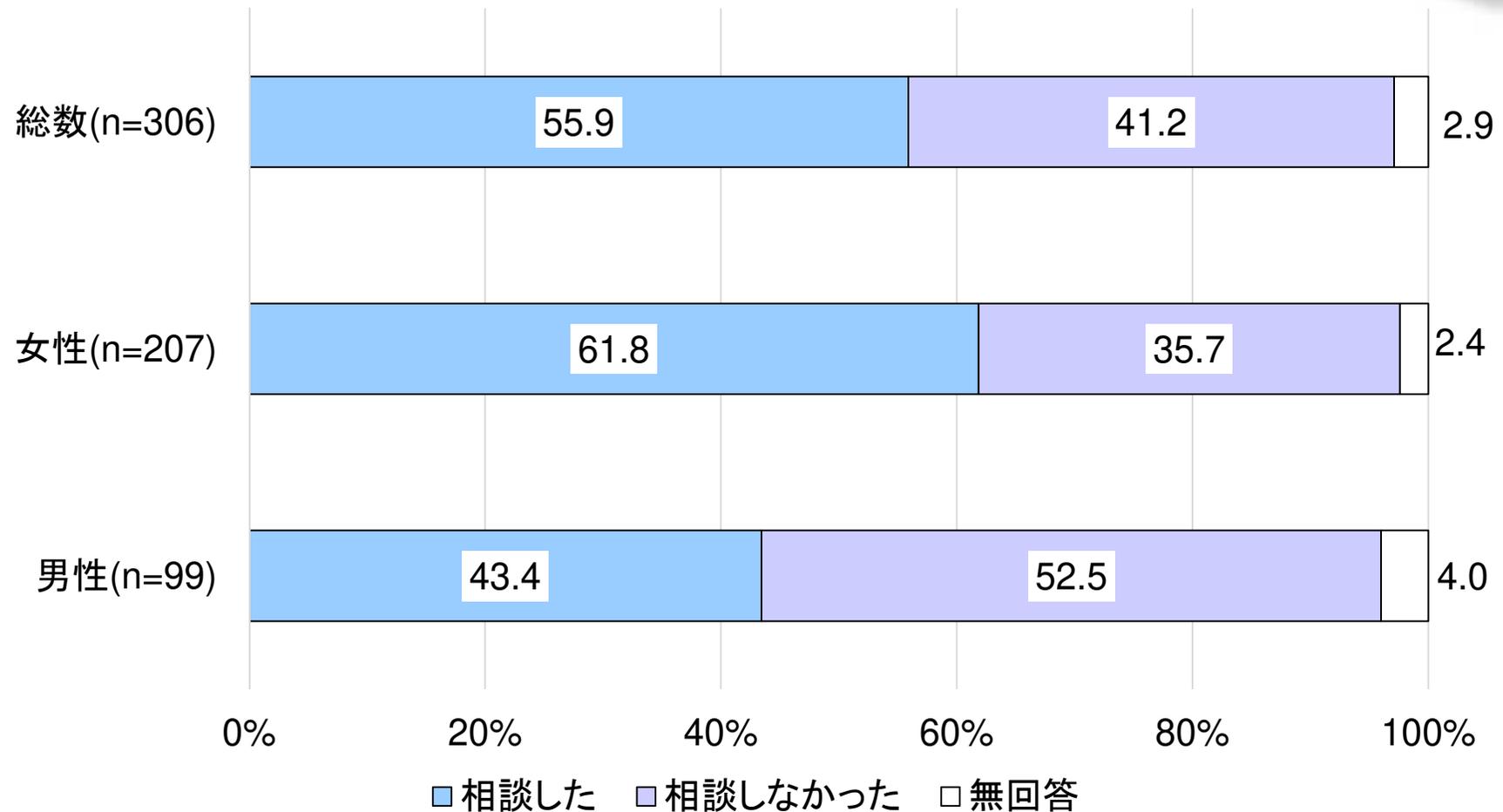


内閣府「男女間における暴力に関する調査」(平成29年度調査)

○男性の10人に1人は交際相手から被害を受けたことがある。

○女性の5人に1人は交際相手から被害を受けたことがある。

## ○交際相手からの被害相談の有無（全国）



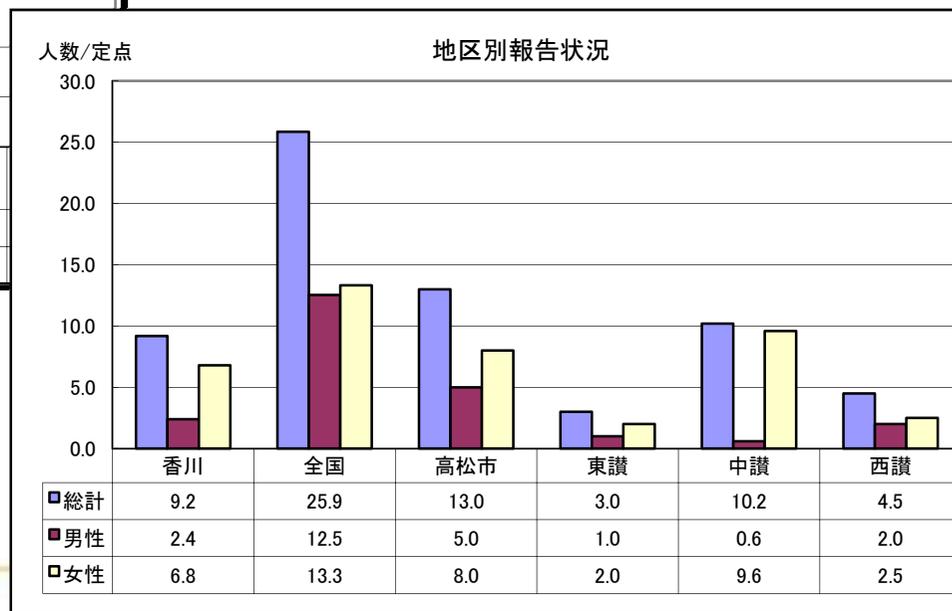
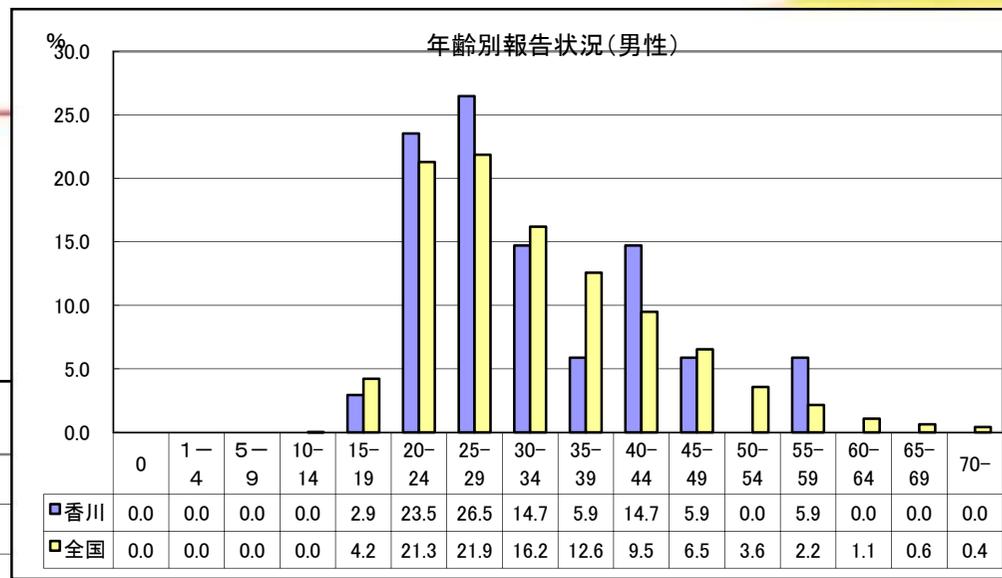
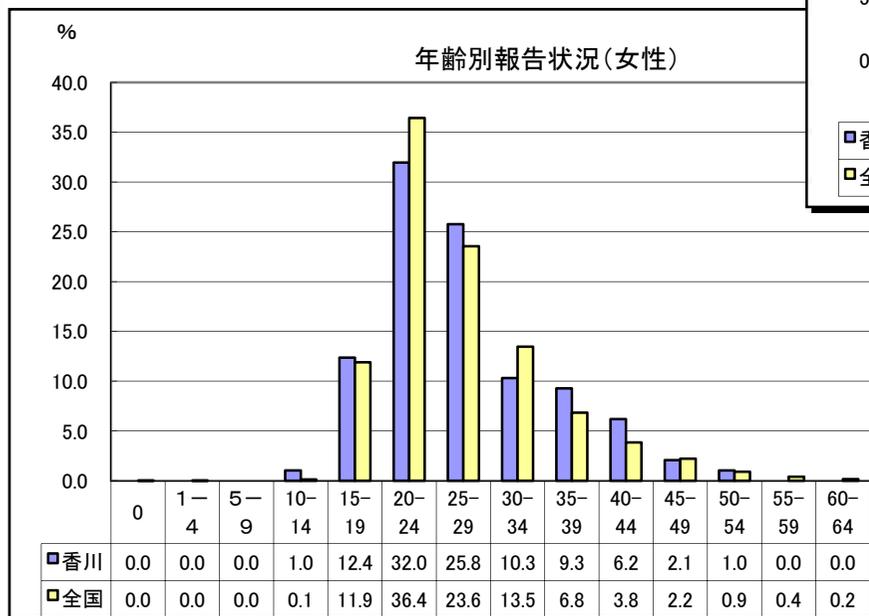
内閣府「男女間における暴力に関する調査」(平成29年度調査)

○被害にあったとき、2人に1人は、だれにも、どこにも相談していない。

○特に、男性の5人に2人は、だれにも、どこにも相談していない。

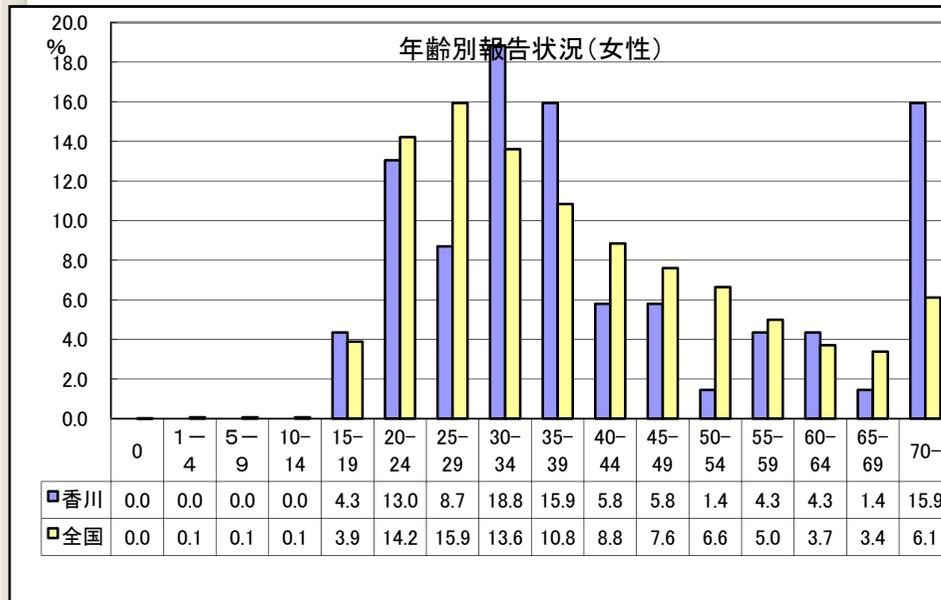
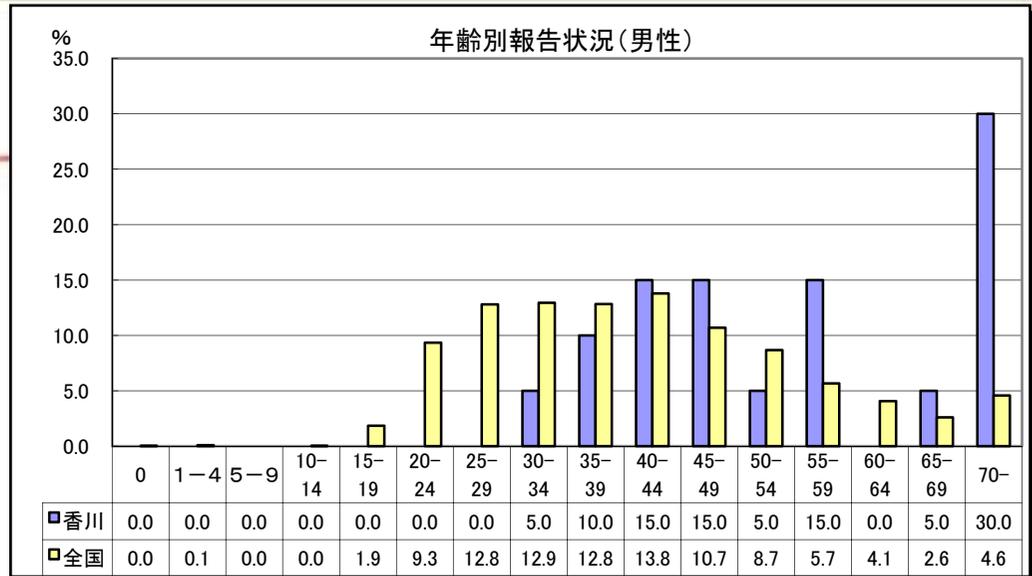
## (2) 性感染症

### ①性器クラミジアの 年齢別報告状況（H30年） （香川県と全国の比較）

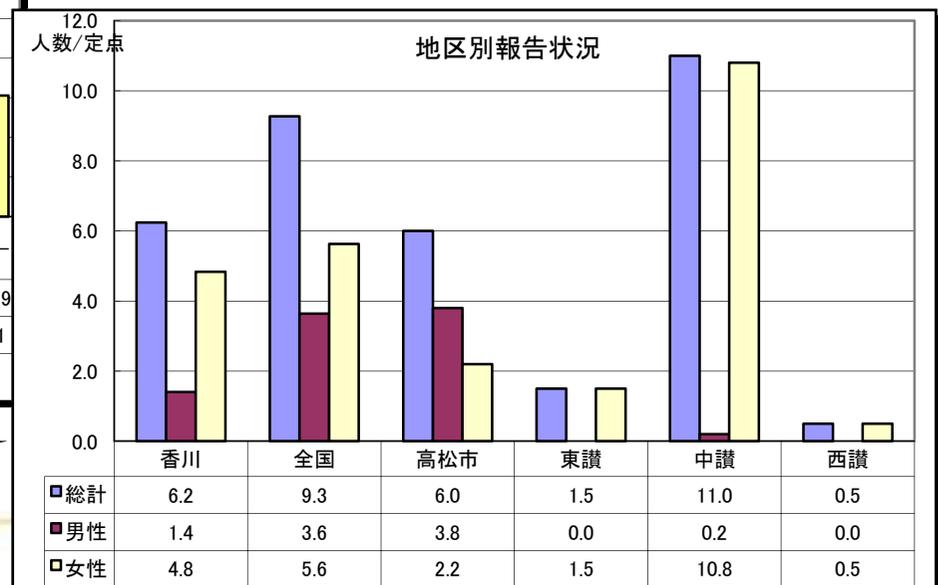


感染症発生動向調査(H30)より

## ②性器ヘルペスウイルス感染症の 年齢別報告状況（H30年） （香川県と全国の比較）

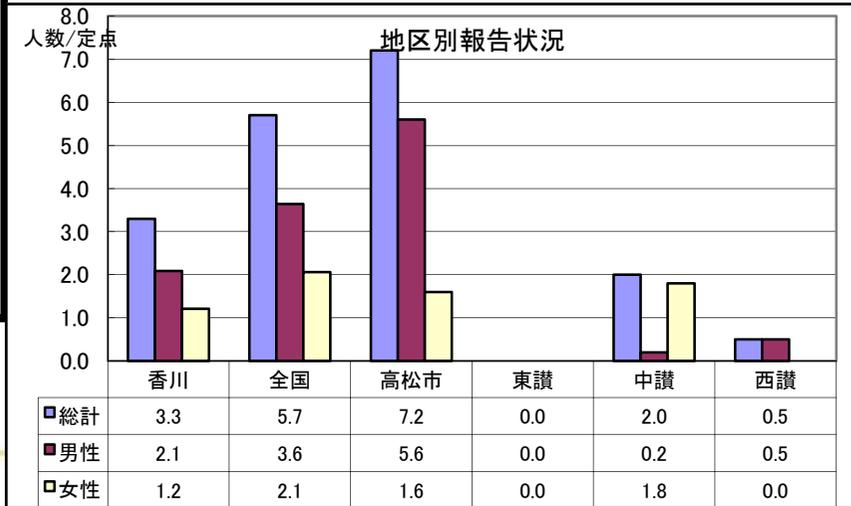
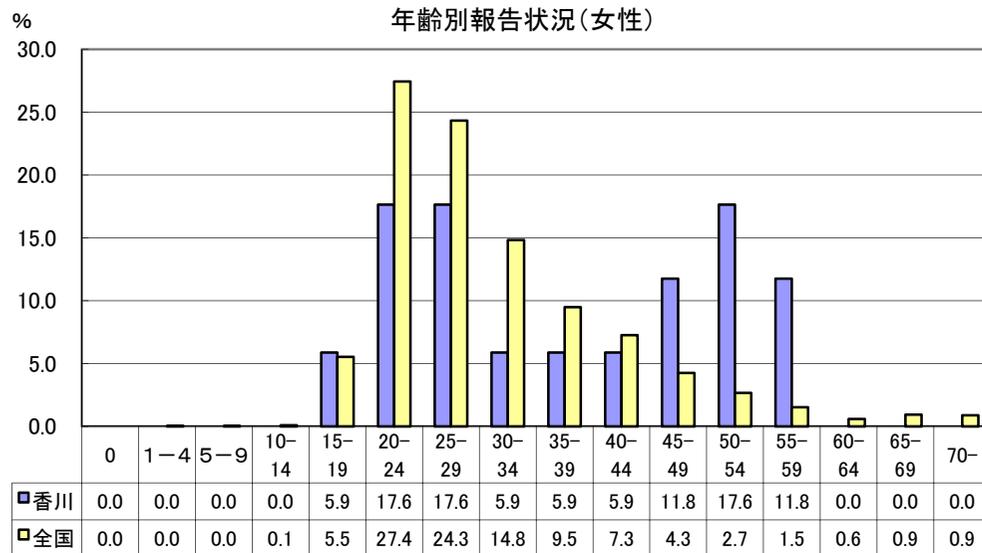
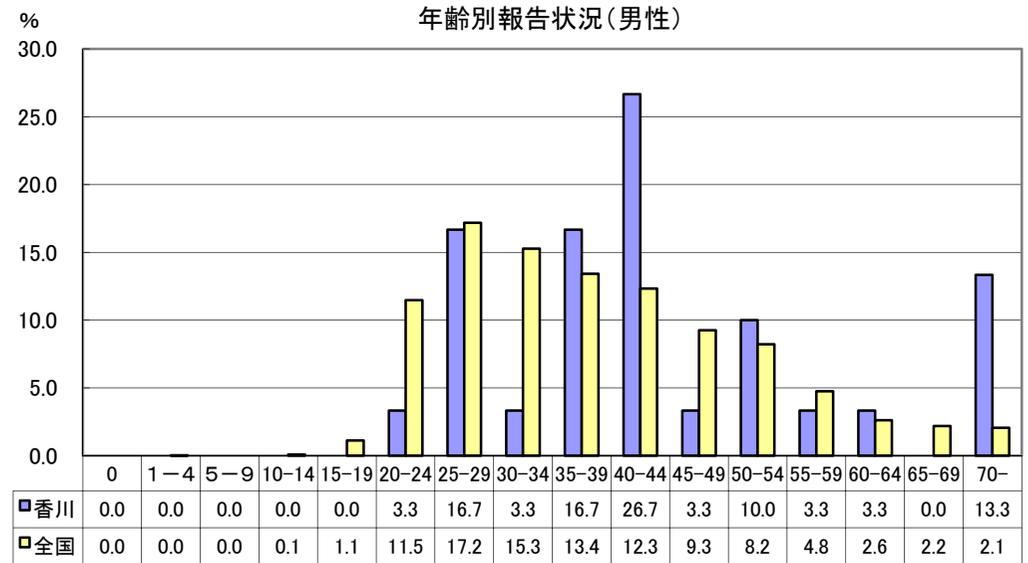


地区別では、中讃の女性が多い。



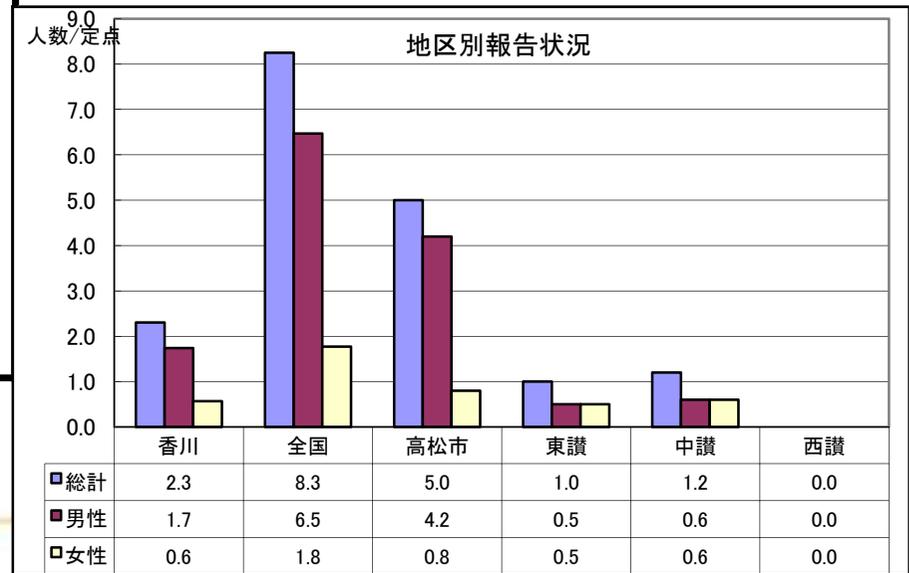
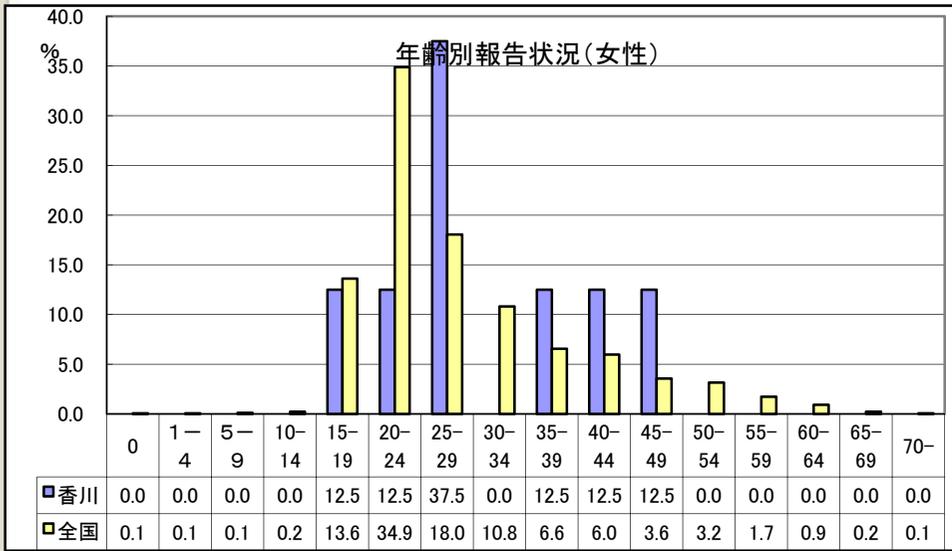
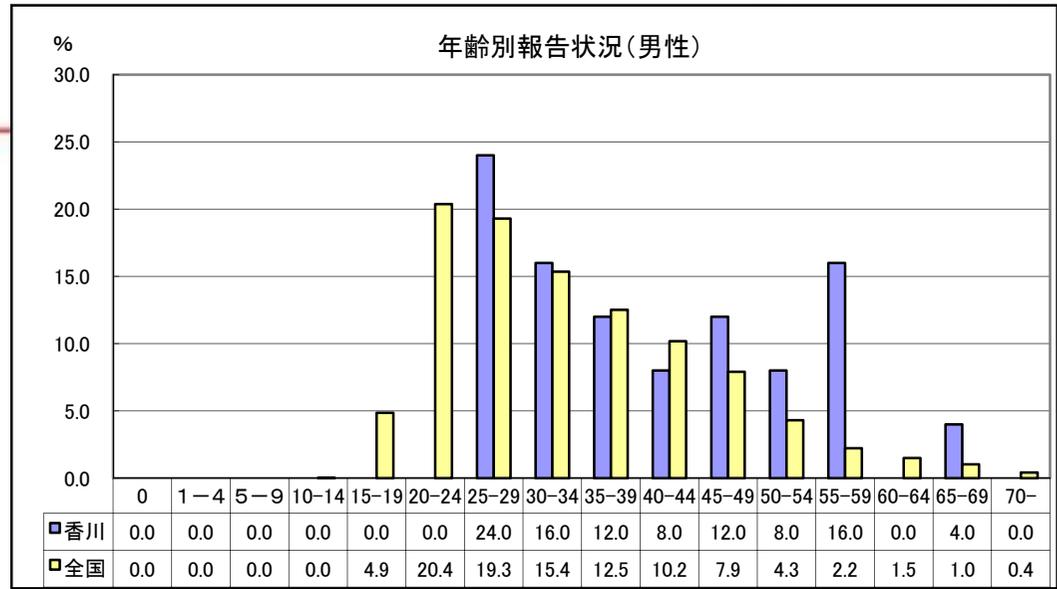
感染症発生動向調査(H30)より

### ③尖圭コンジローマの 年齢別報告状況（H30年） （香川県と全国の比較）

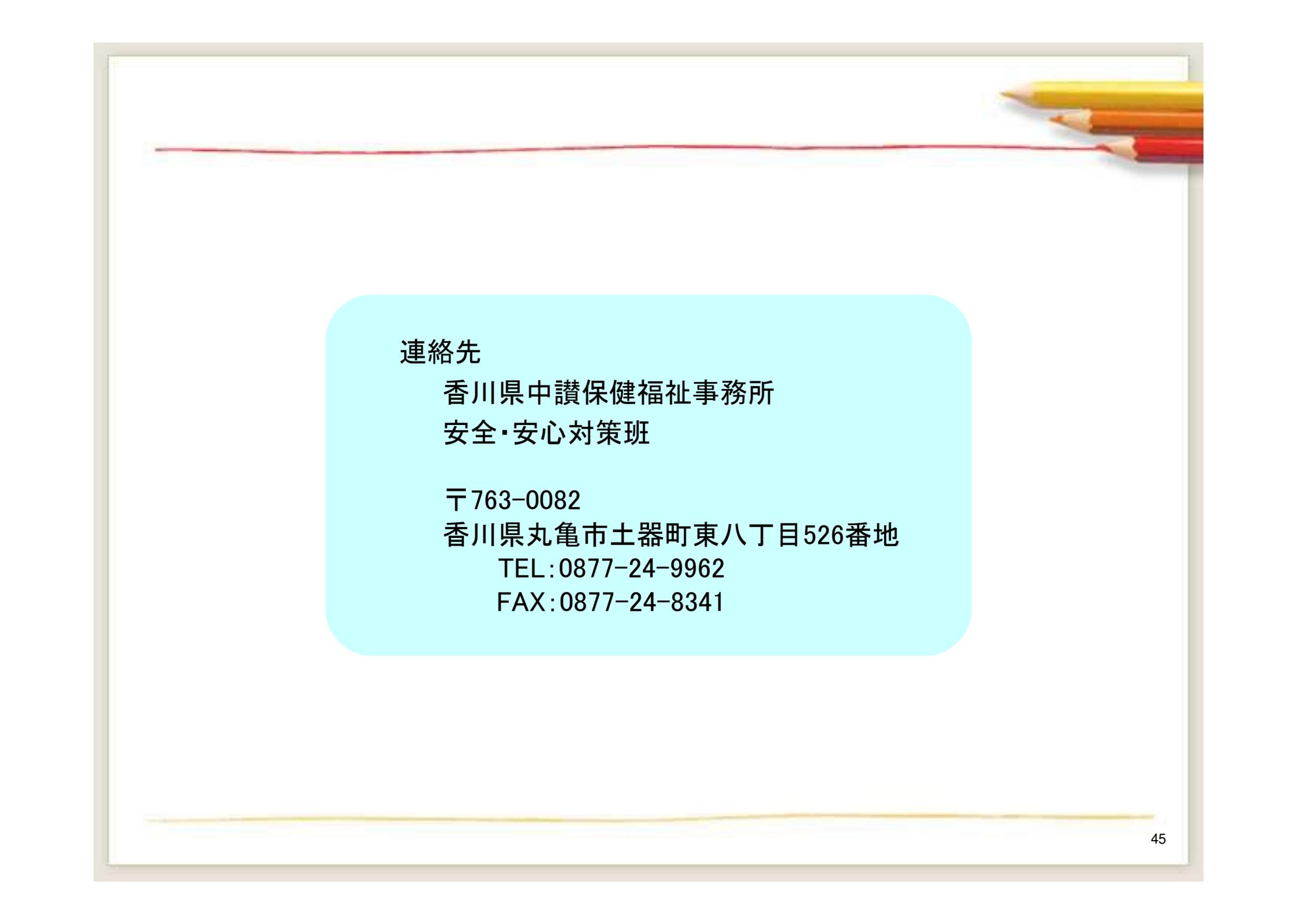


感染症発生動向調査(H30)より

#### ④淋菌感染症の 年齢別報告状況（H30年） （香川県と全国の比較）



感染症発生動向調査(H30)より



連絡先

香川県中讃保健福祉事務所  
安全・安心対策班

〒763-0082

香川県丸亀市土器町東八丁目526番地

TEL:0877-24-9962

FAX:0877-24-8341